

浜松市総合計画基本計画(案) に対するご意見ありがとうございました

市民の皆さんからの提出意見と
その意見に対する市の考え方の公表



令和6年8月から9月にかけて実施しました浜松市総合計画基本計画(案)に対する意見募集(パブリック・コメントの実施)に貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

意見募集を行った結果、市民等120人・2団体から352件のご意見が寄せられましたので、それらのご意見とご意見に対する市の考え方を公表いたします。

ご意見につきましては、項目ごとに整理し、適宜要約し掲載しております。

また、お寄せいただきましたご意見を考慮して、「浜松市総合計画基本計画」を策定し、令和7年4月からの実施を予定しています。今後とも、浜松市総合計画基本計画に対するご理解とご協力をお願いいたします。

なお、この内容は、市ホームページ(<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>)にも掲載しております。

令和6年10月

浜松市企画調整部企画課

〒430-8652 浜松市中央区元城町103-2

TEL 053-457-2241

FAX 050-3730-1867

E メールアドレス

kikaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

募集結果

【実施時期】	令和6年8月16日（金）から令和6年9月17日（火）		
【意見提出者数】	120人・2団体		
【意見数内訳】	352件 （提案41件、要望248件、質問54件、その他9件）		
【提出方法】	持参（9）郵便（28）電子メール（33）FAX（2）説明会等（50）		
【意見に対する考え方】	案の修正	23件	今後の参考 211件
	盛り込み済	25件	その他 93件

目次

全体（意見数 22 件）	……P 1 ～ P 4
1 総論	
(1) 総合計画の概要（意見数 13 件）	……P 5 ～ P 8
(2) 第2期基本計画の概要（意見数 12 件）	……P 9 ～ P12
2 まちづくりの基本理念（意見数 68 件）	……P13 ～ P25
3 分野別計画（意見数 4 件）	……P26 ～ P27
(1) 産業経済（意見数 26 件）	……P28 ～ P33
(2) こども・教育（意見数 58 件）	……P34 ～ P47
(3) 安全・安心・快適（意見数 77 件）	……P48 ～ P64
(4) 環境・くらし（意見数 18 件）	……P65 ～ P69
(5) 健康・福祉（意見数 13 件）	……P70 ～ P73
(6) 文化・スポーツ（意見数 28 件）	……P74 ～ P80
(7) 地方自治（意見数 11 件）	……P81 ～ P85
その他（意見数 2 件）	……P86

全体（意見数 22 件）

要望 1	市民主体、市民参画についても具体的な内容を明示して欲しい。
---------	-------------------------------

【市の考え方】その他

市民主体や市民参画の具体的な内容については、各政策の個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしていまいります。

要望 2	広域な本市は、地域ごとに実態が異なる。市域を細分化して評価しないと実態を反映できないのではないかな。
---------	--

【市の考え方】その他

本計画の策定にあたっては、各政策の立案を行う際にアンケート等で区ごとの分析を行うなど、地域性を勘案し、内容を検討しました。

提案 1	基本計画をまとめてから市議会へ提案するまでの期間が、あまりに短時間であり、実効性に不安を感じる。せっかくまとめるのならば、時間をかけて検討することが必要ではないかな。性急にまとめるよりも、じっくり内容を検討して市民の声を反映したものにしてほしい。
---------	---

【市の考え方】今後の参考

本計画の策定にあたっては、2023 年度から政策の企画立案や、アンケートによる市民意識調査、第 1 期基本計画の評価・検証などを実施してきました。また、これまでに各分野の有識者で構成する検討委員会を 3 回、市議会特別委員会を 4 回開催して、専門的見地や市民の代表としての意見をいただきながら、基本計画案の策定を進めてきました。

引き続き市民の皆様の声に耳を傾けながら、今後の施策を検討していきます。

提案 2	パブリック・コメントで出た意見を計画に掲載することで、市民が意見を反映されていると実感できるのではないかな。
---------	--

【市の考え方】今後の参考

パブリック・コメントによる市民の皆さんからの提出意見と計画への反映については、制度に基づき、市ホームページに掲載するとともに、協働センターなどにおいて配付します。

質問 1	大まかな目標数値が示されていないのはなぜか。
---------	------------------------

【市の考え方】 その他

本計画の指標については、今後作成する参考資料においてお示しします。

要望 3	実現できれば良いと思われることが羅列されているが、目の前に迫っている危機について記されていない。例えば、細りゆく人口と財政の中、老朽化が進むインフラと市のサービスをどう支えていくか、方針と展望を記して欲しい。
要望 4	書いてある内容が理想ばかりで現実的でないように思う。現状の様子と、それをどう改善するかを具体的に書かれていないと実効性を感じない。

【市の考え方】 今後の参考

本計画は、未来の理想の姿の実現に向けて今後 10 年間の取組の方向性を示したものです。

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

提案 3	「協働」の使い方について（P8、9、21、25、27、29、30、32、33、37、41、53、57、59 など） 基本計画の随所に出てくる「協働」については、協働は、行政が用意したお膳立てをほかの市民や企業、団体と協力して行うことを指し示す。現代の課題解決には、行政全体が政策オープンイノベーションを進めて、市民や企業、団体と共に新しい価値をつくる「共創」の時代が到来しているといえる。言葉に時代遅れ感がある「協働」を使い続けていいのだろうか。
---------	--

【市の考え方】 今後の参考

総合計画基本構想における都市の将来像として「市民協働で築く「未来へかがやく創造都市・浜松」を掲げています。「共創」は、市民、団体、企業及び市が多角的及び多元的に連携して取り組む「協働」に包含される表現と捉え、本計画では「協働」を使用します。

要望 5	見出しと本文、表などのフォント、文字サイズ、文字種（プレーン、ボールド）が不統一で非常に読みにくい。全面校正した方がよい。
---------	---

【市の考え方】 案の修正

文字の書体等について精査し、修正します。

要望 6	日本のどこの地域でも当てはまる内容が書かれており、浜松市の地域性を強く意識した政策方針を、一定の具体性をもって、市の姿勢を前面に出した考えが示されていない。
要望 7	もう少し具体的な例を書いた方が分かりやすい。
要望 8	具体的な数字が少ない。もっと書いてほしい。

【市の考え方】 今後の参考

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

提案 4	イラストやわかりやすい言葉を使った小学生でも興味を持ち読みたくなるようなバージョンを作ってみてはどうか。
提案 5	「誰もが見てみたいと思える」よう工夫して見てはどうか。より市民に近い市政であるために、興味を持ってもらうことは必要だと思う。

【市の考え方】 今後の参考

こどもたちへの周知・普及は重要であると考えています。いただいたご意見は、今後の参考とします。

要望 9	もう少し要約して、興味を引く内容にした方がわかりやすいと思う。
要望 10	計画案の量が多い。もう少し短くまとめてはどうか。
要望 11	片仮名の文字が多く、解り難い。

【市の考え方】 今後の参考

ご意見として承ります。

その他 1	10年後の浜松のために浜松市がこれから行おうとしていることが分かった。
その他 2	参考資料：「浜松市総合計画基本計画（案）」の主な用語の解説があり、とてもスムーズに読み進めることができた。
その他 3	わかりやすく書いてある。
その他 4	全体的に書き方にまとまりがあってよい。
その他 5	全体的に図や表など、中学生が読んでも分かりやすく書かれており、読み取りやすかった。要点が大きく太字で書かれており、大事にしたいことが分かりやすかった。

【市の考え方】今後の参考

ご意見として承ります。

1 総論 (1) 総合計画の概要 (意見数 13 件)

要望 12	今回の総合計画は第2期である。第1期基本計画「次世代に責任が持てるいまを創造」に向けた実施事業の検証と課題の資料をつけて欲しい。
----------	--

【市の考え方】その他

第2回浜松市基本計画検討委員会（2024年5月7日開催）において「浜松市総合計画基本計画（第1次推進プラン）評価・検証」として第1次基本計画の検証を行いました。本計画の政策立案にあたっては、上記を踏まえて検討をしました。

検討委員会の内容・資料については、市ホームページをご覧ください。

(<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kikaku/totalplan2015/kihoniinkai2024.html>)



要望 13	「総合計画基本計画」とあるが何故「総合基本計画」ではないのか。浜松市としての総合基本計画となっていないのではないかと。もっと未来に繋がる浜松市独自の方針を示した具体的な内容とすべきではないかと。
----------	---

【市の考え方】その他

本市の総合計画は「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3層で構成されており、そのうちの基本計画を指すことから「総合計画基本計画」としてしています。具体的な内容については個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしていきたいと思います。

要望 14	より良いまちづくりを実施するためには、これまでの都市計画政策で不足していたところを列挙して振り返り、その反省をもとに何をすべきかを論ずる必要があるが、その姿勢が感じられない。このようにPDCAが回っていないのは非常にまずいと思う。
----------	---

【市の考え方】今後の参考

本市では、毎年、次年度以降の事業展開に向けて、前年度の実施計画にかかる評価レポートを作成・公表しています。また、第2回浜松市基本計画検討委員会（2024年5月7日開催）において「浜松市総合計画基本計画（第1次推進プラン）評価・検証」として第1次基本計画の検証を行いました。本計画の政策立案にあたっては、上記を踏まえて検討しました。

検討委員会の内容・資料については、市ホームページをご覧ください。

(<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kikaku/totalplan2015/kihoniinkai2024.html>)



要望 15	「基本計画」は、「長期的な展望に立ち、今、行政は何を行うべきか、今、市民にできることは何かを考え、10年でやるべき総合的な政策を定める」としているが、肝心の「目標」と「重点施策」が示されていない。「目標」と「重点施策」は、毎年策定する「実施計画」の基本となるもので、PDCAサイクルによる検証を行い、着実に事業を推進していくうえで不可欠であり、明記する必要がある。
----------	--

【市の考え方】その他

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確に示てまいります。本計画の指標については、参考資料においてお示しします。

要望 16	総合計画は10年スパンになっているが、これからの時代は5年単位などもっと短いスパンで決めていかなければ、世の中の進化についていけない。また、一昨年度の出生数は72万人でしたが、これは11年後の予想数であり、予想よりも11年早く少子化が進んでいることになる。人口予想に基づいて計画を立てても、実際の人口減少スピードはもっと速いということもありうるため、計画に考慮していただきたい。
----------	---

【市の考え方】今後の参考

本計画は未来の理想の姿の実現に向けて、長期的な展望に立って総合的な政策を10年間の計画期間として定めています。社会経済環境の変化などについては、毎年度作成する実施計画において考慮していきます。なお、計画期間中においても、節目となる時期には中間評価を実施する予定です。

質問 2	総合計画の基本構想は30年間の計画期間だが、途中で修正や改訂はあるのか。
---------	--------------------------------------

【市の考え方】その他

基本構想は、時代が変化しても変わらない普遍的な目指す方向や「将来像」を描いています。今回、基本計画の策定にあたり、基本構想の修正や改定の必要性を検討した結果、現行の基本構想を継続することとしました。

質問 3	総合計画の「基本計画」「実施計画」のPDCAサイクルはどう行っているのか。情報は公開されているか。
---------	---

【市の考え方】その他

「実施計画」の評価レポートを作成し、目標値に対する達成状況を毎年7月に市ホームページで公開しています。

(<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kikaku/senryakukeikaku/index.html>)



提案 6	「基本構想」の到達度合を理解する上で、「基本計画」の10年間でどこまで達成できているか示してもらえると分かりやすいがどうか。
---------	--

【市の考え方】その他

本計画の策定にあたっては、第2回浜松市基本計画検討委員会（2024年5月7日開催）において「浜松市総合計画基本計画（第1次推進プラン）評価・検証」として第1次基本計画の検証を行いました。10年間での達成状況は2025年度に評価・検証等を行います。

検討委員会の内容・資料については、市ホームページをご覧ください。

(<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kikaku/totalplan2015/kihoniinka2024.html>)



質問 4	現行の「実施計画」は公表されているか。
---------	---------------------

【市の考え方】その他

毎年4月に市ホームページにおいて当該年度の実施計画を公表しています。

(<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kikaku/senryakukeikaku/index.html>)



要望 17	「1ダースの未来」という概念を今回初めて知った。さらに「1ダースの未来」の説明動画があり、この映像化にどれほどの予算が割かれているのか。市の税金でつくるもの、実行したものについては、その後の効果についてしっかりと検証し、かけた税金に見合った効果がでているのか、市民に公開していただきたい。
----------	--

【市の考え方】盛り込み済

毎年度実施計画の評価・検証を行い、市ホームページにて公開しています。

(<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kikaku/senryakukeikaku/index.html>)



提案 7	平仮名【漢字】より、漢字【平仮名】の方が個人的には見やすいと思う。
---------	-----------------------------------

要望 18	「1 ダースの未来」について、12 個のキーワードは平仮名→漢字の順で表記されているが意味はあるのか。漢字を知っている側としては漢字で書いてあった方が一目で内容が分かるのではないかと思う。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

1 ダースの未来の「ひらがな【漢字】」の表現については、基本構想を踏襲していることから案のままとします。

要望 19	基本構想の文字が小さく見づらい。
----------	------------------

【市の考え方】 案の修正

該当箇所の文字は分かりやすくなるよう、大きさやフォントを変更します。

《修正内容》

P3 基本構想

(修正後)

フォント・文字の大きさの変更

1 総論 (2) 第2期基本計画の概要（意見数 12 件）

要望 20	基本計画はバックキャスティング方式を取り入れているのは理解したが、これまでの施策の現状とあわせて成果と課題分析についても同時に確認できるように要望する。浜松市公式サイトでの浜松市基本計画検討委員会の公開資料において確認できたが、そこまで掘り下げないと計画立案の道筋がみえないので評価しにくい。他自治体や政令市でも現状の記載がされているところが多いが、次期計画だけを記述する意図を伺いたい。
----------	--

【市の考え方】その他

本計画では、市民にとってわかりやすい計画とする観点から、未来の理想の姿を実現するために今後 10 年間に取り組むべきことを整理しており、これまでの施策の現状や成果、課題分析を記載しておりません。

提案 8	「幸福を実感できる計画」というのはおかしい。計画だけ立派であっても実現できなければ意味がない。「幸福を実感できる社会を実現するための計画」とすべきではないか。
---------	---

【市の考え方】案の修正

いただいたご意見により、以下のとおり修正します。

《修正内容》

P4 ウェルビーイングの視点

（修正前）

「幸福を実感できる計画」

（修正後）

「幸福を実感できるくらしを実現する計画」

質問 5	市民意識調査は、いつごろ、どのぐらいの人を対象に実施されたのか。
---------	----------------------------------

【市の考え方】その他

以下のとおり市民意識調査を実施しました。

＜アンケート＞

調査期間：2023 年 11 月 17 日～12 月 10 日

標本数：5,000 人（有効回答数：2,640 人）

＜広聴モニターアンケート＞

調査期間：2024 年 2 月 6 日～2 月 20 日

対象者：228 人（有効回答数：200 人）

質問 6	計画策定に向けた市民意識調査のアンケートと広報モニターアンケートの実施方法の結果はどうか。
質問 7	生活満足度や将来への期待度などに関する市民意識調査の結果は、どこで確認あるいは閲覧できるのか。

【市の考え方】 その他

アンケートは、2023 年 11 月に外国人を含む 18 歳以上の市民 5,000 人を対象に無作為抽出により実施し、回収率は 52.8%でした。広聴モニターアンケートは 2024 年 2 月に 228 人に対して実施し、回収率は 87.7%でした。両調査とも多くの方に回答いただくことができました。

第 3 回浜松市基本計画検討委員会（2024 年 5 月 7 日開催）における参考資料として、結果報告書を市ホームページにて公表しています。

(<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kikaku/totalplan2015/kihoniinka2024.html>)



質問 8	基本計画を、生活満足度や将来への期待度などに関する市民意識調査の結果だけで立案したのか。市としての客観的調査と解析は行われなかったのか。
---------	--

【市の考え方】 その他

本計画の策定にあたっては、市民意識調査のほか、各種の客観的な指標や部局において実施した調査結果などをもとに、現行基本計画の評価・検証を行っています。

質問 9	進学を機に市外へ転出し、そのまま市外へ就職した若者などを対象に、浜松に戻らない理由等をアンケートしていたりするのか。
---------	--

【市の考え方】 その他

2022 年に UIJ ターン就職に関する実態把握のため、県内外の大学に対する卒業生の就職先等の実態調査に加えて、浜松市及び静岡県出身の大学生や浜松市出身の市外企業勤務者へのアンケート調査などを行いました。

また、2023 年 11 月から 12 月にかけて、東京圏在住者などを対象として、就職時、現在、将来における、出身地に対する意識についてのインタビューを実施しました。浜松市を含む出身地への居住希望の有無や、その理由について、個別具体的な意見を伺いました。

提案 9	「現状と課題」の項目がないため、基本計画は現実と乖離した理想像に留まっている。特に、下記懸案事項は先送りのできない課題であり、基本理念の次に「現状と課題」を追加し、10年で解決するための「重点施策」を示す必要がある。 ① 公共交通の基盤整備（半世紀近く放置されてきた） 公共交通分担率は政令指定都市中最下位（4.4%） バス利用客は激減、相次ぐ廃線・減便で危機的な状況 人口 10万人当たりの人身事故件数は15年連続ワーストワン ② 中心市街地の衰退（20年以上放置されてきた） ③人口激減問題
要望 21	今抱える浜松の現状と問題点、課題が明記されていない。問題解決の評価は目に見える実績成果で判断される。

【市の考え方】今後の参考

本計画では、未来の理想の姿を実現するために今後10年間に取り組むべきことを整理しており、これまでの施策の現状や成果、課題分析を記載しておりません。ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 22	基本構想に「人権の尊重」「こどもの権利を擁護する」を入れるべき。
----------	---

【市の考え方】盛り込み済

基本構想の1ダースの未来には「すべての人が、互いの個性や立場を理解し尊重して、助け合いながら暮らしています。」や「子どもは将来を担う地域の宝といった意識が一人ひとりに浸透し」といった記載を盛り込んでいます。

提案 10	まちづくりの基本理念の6つの柱と分野別計画の順序に意味があるのか。できるだけ意味のある順序に直した方が良いのではないかと。
----------	--

【市の考え方】その他

まちづくりの基本理念は分野横断的な6つの柱を設定しており、なるべく範囲の広い順に並べています。分野別計画は市政全般を把握しやすくするため、7つのカテゴリーに分けたものであり、並列に位置づけています。

提 案 11	世界情勢、気候変動、コロナなどの影響を考慮し、分野別計画の優先順位の変更を基本計画に反映すべきである。また具体的な実施計画を策定すること。
--------------	---

【市の考え方】その他

分野別計画には、優先順位はなく、7つのカテゴリーを並列に位置づけています。具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしていまいります。

2 まちづくりの基本理念（意見数 68 件）

要望 23	まちづくり基本理念に、市民が主体であるという観点が見えてこない。
----------	----------------------------------

【市の考え方】盛り込み済

まちづくりの基本理念の「(4) 共助型社会の構築」では「基礎自治体の主役である市民の意見をボトムアップで市政に反映していきます。様々な主体が、みんなで地域を支え合う意識の下、さらなる連携・協働によるまちづくりを推進し、一人ひとりが持つ違いを認め、尊重し合い、誰もが個性や能力を活かして、自分らしく活躍できる社会を構築します」と記載しています。都市の将来像である「市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』」の実現を目指し、市民を主体としたまちづくりを進めていきます。

要望 24	できるだけ電子データを使った情報の共有、発信を基本的な考えとし、構想に入れてほしい。
----------	--

【市の考え方】盛り込み済

「まちづくりの基本理念」の「(2) 幸福が実感できる豊かなくらしの実現」における「全ての市民がデジタル化による生活の便利さと快適さを実感できる社会づくり～」をはじめ、デジタルの活用に関して記載しています。

要望 25	インフラ事業整備者、エッセンシャルワーカーなどの持続可能なまちづくりに必要不可欠な職業へ税の優遇や、誰でもインフラ整備に対して参加できインセンティブが発生する仕組みの構築など、これまでにない新しい取り組みを計画に盛り込んではどうか。
----------	--

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 26	総合計画の中に子供の教育とか人材育成についての記載が無いのが寂しい。 浜松市は、次世代に向け力を入れている。そこも柱の1つに加えているというところが、あってもよいのではないかと思う。
----------	--

【市の考え方】盛り込み済

まちづくりの基本理念の「(2) 幸福が実感できる豊かなくらしの実現」や「(4) 共助型社会の構築」などにおいて、こどもの教育や人材育成について記載しています。具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしていまいります。

要望 27	貧困・経済困窮、トランスジェンダー、ヤングケアラーの単語が計画に入っていない。少子化は、避けられない課題であり、いまの子どもの課題を支援する計画が必要であり、貧困・経済困窮、トランスジェンダー、ヤングケアラーについての施策が必要である。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

要望 28	10年後の浜松市は、人が多く、賑やかな街になってほしい。人口減少が進むと都市機能は必然的に落ちていく。子育てがしやすい街として他の地域から来てもらいたい。医療費、教育費の補助や施設の使用料の補助を行っている他都市もあり、浜松でもそのような支援を行って周知し、他の地域から人を呼び込めるようになってほしい。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策の検討の際に参考とします。

要望 29	浜松まつりや産業、音楽などを全面に打ち出せる街になっているといい。
----------	-----------------------------------

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策の検討の際に参考とします。

要望 30	10年後の浜松市は、地域住民が浜松市を誇りに思える市になって欲しい。浜松市は世間から見るとヤマハやスズキがある程度で、魅力がないとされているかもしれない。実は醤油を造っていたり、トリイソースがあるなどと様々な企業があることを地域住民も知らない。市役所から情報発信をし、他県の人にも紹介して欲しい。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策の検討の際に参考とします。

要望 31	他県では公園で遊んでいる子供たちの声や騒音で苦情を入れて、公園が廃止になったり、またボール遊び禁止になったりしている場所も多くなっている。浜松では未来をささえる子供に優しい町にしてほしい。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策の検討の際に参考とします。

○ (1) 未来へ向けた持続可能なまちづくり

要望 32	既にかなり大きく出生率が下がり、人口減少は避けられないということを自覚している前提がないと持続可能な町は作れないのではないかな。
----------	--

【市の考え方】盛り込み済

まちづくりの基本理念の「(1) 未来へ向けた持続可能なまちづくり」において「出生率の低下や少子化、若者の流出を食い止め、人口減少社会からの転換を図り、再び成長するまちを目指します」としており、人口減少が緩やかになるような施策を検討していきます。

要望 33	内閣府発表の令和5年版高齢社会白書「第1章 第1節 1 (2) 将来推計人口でみる令和52(2070)年の日本においても、日本の総人口は減少を続け、令和38年には1億人を割ると推計している。浜松市基本計画検討委員会で提出された資料の浜松市の将来人口推計(2023年推計)でも同様の傾向である。「・・・人口減少社会からの転換を図り再び成長するまちを目指します。」と掲げるのは現実的な社会の流れから無理がある。人口減少社会からの転換とは具体的にどのような状態を指すのか。
要望 34	持続可能なまちづくりとして人口減少社会からの転換とあるがどのような意味か。「転換」という言葉がふさわしいかどうかを検討してほしい。

【市の考え方】その他

人口減少社会からの転換とは、出生率の低下や少子化、若者の流出を食い止め、人口減少の進行を緩やかにして、持続可能なまちづくりの実現を目指すものです。

まちづくりの基本理念の「(1) 未来へ向けた持続可能なまちづくり」において「出生率の低下や少子化、若者の流出を食い止め、人口減少社会からの転換を図り、再び成長するまちを目指します」としており、人口減少が緩やかになるような施策を検討していきます。

提案 12	「若者の流出を食いとめ」に対し、「外から若者を呼び込み」に変更または追加した方がよい。
----------	---

【市の考え方】その他

持続可能なまちづくりに向けては、人口減少の大きな要因である若者の流出を食い止め、若者が住みたいと思えるにぎわいと魅力にあふれたまちづくりに一体的に取り組むことが重要だと考えています。

まちづくりの基本理念の「(5) にぎわいと魅力の創造」において「若者や女性をはじめとした多くの人にも選ばれるような、にぎわいと魅力あふれるまちづくりを推進します」と記載しています。

要望 35	観光や若者が遊ぶところ、伝統的文化などを広める場所など、目立ったものがないことが若者の流出する原因だと思う。浜松市は、大規模なところが他県と比べて少ない。
要望 36	若者が浜松に関わるためには、きっかけづくりが必要である。若者にとって、きっかけがないと知ることができない、調べない。浜松市はドラマ・アニメの聖地になっている。外国人観光者にはバイクを借りて市内を回っている方もいる。そのつながりで魅力を発見できる。若者の興味関心を引くきっかけづくりをした方が良い。
要望 37	浜松市や市内の企業の活動やイベント等の情報を教育機関を通じて若者に発信することで、様々な機会に若者が関わることができ、若者の流出を食い止める一因になるのではないかな。
要望 38	県外の若者に浜松市に来てもらうために、浜松の学校や企業を知ってもらうツアーを開催するのはどうか。バスを使い、市内の企業や大学、高校を見学できるようにすれば、浜松のことを知ってもらい、進学先・就職先に選んでももらえるのではないかな。
要望 39	若者のニーズは様々であり、色んな角度から調査し、集約すれば共通しているニーズを把握できるのではないかな。例えば大学や就職先を選ぶとき、本人の中では譲れない条件がそれぞれある。そのニーズに対応できるようにすれば浜松市として受け皿も大きくなり、浜松に住む選択をしてもらえるようになる。
要望 40	浜松は自然や歴史という、若者より少し年上の方に興味がわくような魅力はある。若者のサブカルチャーとマッチングできるようなコラボをし、若者が注目しやすいものと組み合わせて伝えるのがいい。

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 41	これから浜松市が多くの人に住みたいと思われるためには、自然災害に対する防災の取組が一番重要だと思う。元々浜松市に住んでいる人は、幼少期から大地震は来ると言われている。一方、県外から来る人は、地震を怖がっており、このリスクは足枷になってくる。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

まちづくりの基本理念の「(1) 未来へ向けた持続可能なまちづくり」において「地震や津波、豪雨による自然災害のリスクに対しては、浸水被害の防除及び軽減、安全で安心して利用できる道路ネットワークの構築、市民の防災意識の向上など、ハード・ソフトの両面による災害に強いまちづくりを行います」と記載するなど、リスクを踏まえた内容を盛り込んでいます。

要望 42	豪雨などの災害が危惧されており、人々の生活にとって、安心安全に住むことができることは、浜松市に住む理由のひとつとなる。未来へ向けた持続可能なまちづくりが達成されてることが、まちづくりの基本となる。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 43	大学の友人がいなくなると、浜松に就職してもつながりがなくなってしまう。講義で地元の人が来て話を聞く機会があり、浜松はすごいと思ったが、そこだけのコミュニティで終わってしまう。浜松に残らなくてもよいと思ってしまう。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

○（２）幸福が実感できる豊かなくらしの実現

要望 44	全ての市民がデジタル化を幸せに感じる訳ではない。人と人が交流しなくなるような街づくりという印象を持ってしまう。
要望 45	「全ての市民がデジタル化による生活の便利さと快適さを実感できる」とあるが、生き方が多様化している中、デジタルになることを決して豊かだと思わない人もおり、山間部での生活や古民家で暮らす若者も増えている。「デジタル化による生活の便利さ」という言葉が、デジタル化を豊かだと思わない層に冷淡に感じる。
要望 46	高齢の方はデジタルに強くなりたいのか。デジタルを活用することが幸福実感の向上につながるのか。

【市の考え方】 今後の参考

デジタルの活用にあたっては、市民や地域、企業、団体などと協働し、先端的な技術やデータ利活用により地域の課題解決や活性化を推進することが重要だと考えています。具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしていまいります。

提案 13	文末が「幸福感の向上を目指します。」となっているが、「全ての市民がデジタル化」によって幸福感が得られるとは考えられない。せめて、「・・・実感できる社会づくりを進めます。」にとどめておいた方がいいのでは。
----------	---

【市の考え方】 その他

「幸福実感の向上」は「デジタル化による生活の便利さと快適さを実感できる社会づくり」とともに「あらゆる主体との協働を念頭に置いた取組」によっても実現

を目指すものです。

要望 47	デジタルの力で人を支え、貢献した市民や企業にインセンティブが発生する仕組み作りができるよう、計画に盛り込んでどうか。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 48	これまでの地域自治会の考え方のアップデートが必要である。旧態依然の今の地域属性が新しい人を集めることへ負担となっている。地域自治会の方針は、昭和世代から何もアップデートされていない地区が存在している。必要以上の負担がない地域を設けることで新しい他県市町から人を呼び込むことに期待できる可能性があると思う。そのような新しい視点でのくらしの実現へも目を向けた計画としてはどうか。この取り組みはコンパクトシティ化や過疎地域解消にも一定の効果が発生することが期待できると思う。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 49	治療ではなく予防に観点をおくというのがいいと思う。病気になってからでは遅い。生活習慣病が最近増えている、それは予防が大事であるが危機感が足りない。
----------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 50	人生 100 年時代をどう生きていくか、大学で議論したことがあるが、超高齢化社会の中で、自分たちが今後 60 代、70 代、80 代となった時にどういう社会になっていくか関心があります。生涯現役社会、80 代になってからも学びや活躍できる社会になって欲しい。
----------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

○（3）活力ある地域経済の振興

要望 51	技術を持った中小企業が浜松市には多い。大企業はもちろん、それ以外の力を持った中小企業が全国に知られていないのがもったいない。パラリンピックの車椅子を浜松市が作っていたり、浜松では素晴らしいものがたくさん作られている。もの作りの町であることを知ってもらうのは重要だと思う。
----------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 52	市民が市内の企業を積極的に応援できる仕組みの構築をしてみてもどうか。また市が応援しているスタートアップ企業をより市民にわかるよう可視化し、市民が直接投資支援できる仕組みを構築するのも良いと思う。
----------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 53	スタートアップや産業誘致に魅力を感じている。浜松で就職先がないとの声が多い。工業系の大企業はあるが、それ以外で名前の売れているところが少なく、イメージがわからない人が多い。スタートアップや企業誘致を通じて、浜松の進路などの可能性を若い子に伝えていくことで、市外の大学に行っても浜松市に帰ってくるのでは。いろんな進路や可能性を高校生向けに教えて欲しい。
----------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 54	他から企業誘致をする場合、市民の健康や環境に負荷を与えないものか、精査をきちんと行っていただきたい。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 55	浜松の情報系の大学生も、東京や名古屋の IT 企業に就職してしまう。情報系の学部が浜松にあるのにもったいない。浜松に IT 企業が必要であり、誘致してみてもどうか。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

○（４）共助型社会の構築

要望 56	人と人とのつながりが希薄になっていると感じる。自宅周辺の人たちとの交流も少ない。託児所やこども食堂も人が多い場所で開設され、街から外れ人が少ないところは作られていない。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 57	地域との関わりがあることで防災にも役に立つ。名前だけでは誰がいるのかも分からない。顔をお互い分かることが大事ではないか。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

提案 14	「様々な主体が（中略）一人ひとりが持つ違いを認め、尊重し合い、誰もが個性や能力を活かして、自分らしく活躍できる社会を構築します」とあるが、「一人ひとりの人権を尊重し、誰もが活躍できる社会を構築します」に替えてはどうか。
----------	---

【市の考え方】 盛り込み済

まちづくりの基本理念の「(4) 共助型社会の構築」において「一人ひとりが持つ違いを認め、尊重し合い、誰もが個性や能力を活かして、自分らしく活躍できる社会」とは、人権を尊重することを表現したものです。

要望 58	障害者について、本人に対する支援だけではなく、周囲の理解を深めていくことが必要である。自分が障害を持って新たに知ったことが多い。本人に対する支援だけではなく周りの人の障害などに対する認知が上がったほうが共助的社会につながっていく。
----------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

○ (5) にぎわいと魅力の創造

要望 59	「(5) にぎわいと魅力の創造」は、「(5) 地域のにぎわいと魅力の創造」あるいは、「(5) 都市のにぎわいと魅力の創造」など、対象を明確にした方が良い。
----------	---

【市の考え方】 その他

まちづくりの基本理念の「(5) にぎわいや魅力の創造」では、都市全体も、それぞれの地域も、にぎわいと魅力を創造することを目指しています。

要望 60	「音楽のまち・はままつ」と言われており、ジャズウィークなど音楽を聴く機会はあるが、クラシックなどのイメージが強い。地方でも新しく音楽フェスが開催されることも多く、親しみやすい音楽にも広げていてもらいたい。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 61	浜松は「ものづくりのまち」や「音楽のまち」と言われるが、市民感覚と乖離がある。芸術家や創作者が活躍の場がなく、市外へ流出している。美術館や展示の環境整備、芸術文化を育む土壌づくりが必要である。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 62	全体的に具体性のない内容であるにも関わらず、「大規模スポーツ施設の整備」だけが具体的に示されている。市民生活の根幹や「まちづくりの基本理念」に直接寄与しないスポーツ施設より、日常の市民生活や安全の方がよほど重要である。市の方針に都合の良いもののみ具体的に記載するのはどうかと思う。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

質問 10	P9(5) の「ハード・ソフトの一体的な取組」とは具体的にどうか。
----------	-----------------------------------

【市の考え方】 その他

大規模スポーツ施設の整備や運営などにおいて利用者の視点を意識するとともに、施設が有する機能を最大限に活かした事業の展開やイベントの誘致・開催などに取り組み、ハードとソフトの相乗効果のあるスポーツ政策を展開していくものです。

要望 63	交通の便が悪い。浜松ですずっと暮らそうと思ったとき、街の中心ではなく、街から離れたところに観光地があり、そこへのアクセスが弱い。1日過ごせる観光施設はなく、半日や1～2時間で過ごせる観光施設が多い。そこをつなぐルートがあれば回りやすい。施設ごとでにぎわっている所とそうでない所の差が大きい。施設ごとに回れるようになれば市内の施設全体が盛り上がってくる。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 64	他市と比べると一部に集中しており、駅から少し離れると商店街が閑散としている。そのような場所に賑わいを持たせることで、駅周辺から様々な場所に観光客や地域のひとが広がっていき、浜松市全体が活性化していくのではないかな。
----------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 65	浜松まつりは町内で完結してしまっており、県外の人に参加できず、認知されづらい。風揚げの機会を創出するなど、参加機会を増やすことで、浜松まつりの魅力を広く伝えられるのではないかな。
要望 66	浜松のにぎわいといえば浜松まつりぐらいのイメージである。他のどのようなにぎわいがあるのかもっと広めていく必要がある。浜松まつりも併せての良さや魅力を広めていければいいと思う。
要望 67	浜松まつりは、22 時までに終了するよう指導をして欲しい。

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 68	中山間地域で育っても、スポーツなど本格的に頑張ろうすると外に出てしまう子が多い。中山間地域に対策をすることで、人も育ち次世代につながる。生まれた地域から外へ出なくてもよくなると思う。
----------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

○（6）拠点ネットワーク型都市構造の形成

質問 11	拠点がコンパクトとは、どういう意味か。
質問 12	コンパクトな拠点は、具体的にいくつかあるのか。
要望 69	拠点がはっきりしないと実際に実現可能かどうかわからないと思う。

【市の考え方】 その他

本市は、合併を繰り返して大きくなった自治体であり、市内の各所に拠点があります。その拠点がコンパクトにまとまっていることでその周辺に住む人たちの利便性が向上するよう拠点ネットワーク型都市構造において目指してまいります。

要望 70	浜松は車社会であり、コンパクトな拠点を活用して、高齢になっても暮らせるなど、いつまでも暮らせるまちっていうイメージを入れてもいいのではないかな。
----------	--

【市の考え方】盛り込み済

コンパクトな拠点には、都市の機能性と市民生活の利便性に配慮した生活拠点も含まれており、まちづくりの基本理念の「(6) 拠点ネットワーク型都市構造の形成」では、高齢になっても住み慣れた地域で安心して生活できるまちづくりを目指しています。

質問 13	コンパクトシティとコンパクトな拠点をつなぐネットワークの違いについて教えてほしい。
----------	---

【市の考え方】その他

本市では、「コンパクトシティ」の一つの形として、基幹的な公共交通沿線に都市機能が集積した複数の拠点が形成され、その拠点と公共交通を中心に都市が集約されるとともに、拠点間が公共交通を基本として有機的に連携された「拠点ネットワーク型都市構造」を目指しています。

要望 71	コンパクトシティについて、電車で拠点をつなげば、みんなが自動車を使わない社会になる。ガソリン自家用車が多く利用されるより電車に乗って移動したほうが環境によいし街並みにもよい。コンパクトシティをすすめることで持続可能な街づくりに貢献できるため、いい政策と思う。コンパクトシティによって持続可能なまちづくりにもつながる。
----------	--

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 72	浜松市はコンパクトシティ化を目指していたと思うが、中山間地域の振興と、コンパクトシティは一見相反するよう見える。これらをどう共存していくのか、もう少し具体的に書かれれば解り易い。コンパクトシティと中山間地域の振興が同時に形成できるものなのか知りたい。
----------	---

【市の考え方】その他

「図：それぞれのコンパクトな拠点をつなぐネットワーク型都市構造」において、中山間地域、郊外地、市街地、都市部の理想の姿を示しており、それぞれの魅力や特性を活かした拠点の形成と有機的な連携を進めることで、市全域の持続可能なまちづくりを実現していきます。

要望 73	人口減少と高齢化が進み、自家用車が使えない市民割合が増える中、拠点をつなぐ交通はどのように実現するのか、具体的ビジョンを示してほしい。個々の車両が自動運転になるだけではエネルギー効率が悪く、持続的社會は実現できないのではないかと。公共交通整備のビジョンをぜひ示してほしい。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしていまいります。

要望 74	都市の基盤である市民の生活の足、特に高齢者や、子供等の交通弱者対応の公共交通について、丸っきり述べられていない。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしていまいります。

要望 75	バスの拠点が浜松駅からでていることが課題である。バスの拠点同士をつなぐ他の交通手段が必要ではないかと。
要望 76	電車が発展していない。バス代が高いと感じる。車がないと生活しづらい環境である。自転車は起伏があり走行しにくい。

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 77	浜松市は面積が広く、公共インフラの整備が、一番鍵になると思う。道路の幅・自転車の飛び出し防止など「安全性」の観点があるとさらに良い。
----------	--

【市の考え方】 盛り込み済

分野別計画のうち「安全・安心・快適」の基本政策 4 において、「人・自転車・自動車など、様々な道路利用者が安全で快適に移動できる道路整備を実施」と記載しています。

提案 15	P10 の図では、浜松駅周辺は「都心」、浜北駅周辺を「生活拠点など」と示されている。しかし、浜松市都市計画マスタープランでは、浜北駅周辺を「副都心」と位置付けているため、総合計画基本計画でも浜北駅周辺を「副都心」とするべきではないのか。
----------	--

【市の考え方】その他

浜北駅周辺については、浜北副都心構想で考え方、施策、事業などを示しています。

質問 14	「都市部の理想の姿」として「多くの人々が行き交う」とあるが、現状あまり多くの人々が行き交ってはいないことについてはどう考えているか。
----------	--

【市の考え方】その他

都市部は都市の玄関口として人が集まることが理想と考えていますが、中心市街地の活性化については、個別計画や毎年度作成する実施計画の策定を通じて施策を検討してまいります。

提案 16	どこが中山間地域か郊外地か分かりづらく、都市部とのつながりも分かりにくい。図の使用をやめるか、分かりやすい図に変えた方が良い。
質問 15	生活拠点をつなぐ公共交通のネットワークは、既存の公共交通だけを意味しているのか、または新たな交通網を想定しているのか。
質問 16	工業用地は特定の場所を指しているのか。
質問 17	生活拠点の周りの矢印は何を意味しているのか。

【市の考え方】その他

「図：それぞれのコンパクトな拠点をつなぐネットワーク型都市構造」は、コンパクトな拠点到機能が集約され、それぞれの拠点到道路、交通でつながっていることをイメージとして表しているものです。

3 分野別計画（意見数 4 件）

提案 17	「人とモノの移動」は、都市の根幹をなす要素である。ところが、「都市・交通」の分野がないため、公共交通の基盤整備は半世紀近く放置され、路線バス事業は危機的状況にある。それにも関わらず「バスを基本としていく」という無責任な交通政策が続いている。「都市・交通」の分野を追加し、「現状と課題」を明記したうえで、10年でやるべき「重点施策」を明記し、推進していく必要がある。
----------	--

【市の考え方】今後の参考

都市や交通については分野別計画における「安全・安心・快適」が該当します。

本計画は、未来の理想の姿の実現に向けて、今後10年間の取組の方向性を示したものです。現状や課題については、毎年、次年度以降の事業展開に向けて、前年度の実施計画にかかる評価レポートを作成・公表しています。また、第2回浜松市基本計画検討委員会（2024年5月7日開催）において「浜松市総合計画基本計画（第1次推進プラン）評価・検証」として第1次基本計画の検証を行いました。

今後の施策の具体的な内容については、個別計画や毎年策定する実施計画において明確にしていまいります。

検討委員会の内容・資料については、市ホームページをご覧ください。

(<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kikaku/totalplan2015/kihoniinka2024.html>)



質問 18	「国籍の多様性」や「男女共同参画」といったキーワードはどの分野別計画に該当するのか。
----------	--

【市の考え方】その他

「国籍の多様性」は、「地方自治」分野の基本政策1に該当します。また、「男女共同参画」は、「環境・暮らし」分野の基本政策3に該当します。

質問 19	「道路交通網の整備」はどこの分野別計画に該当するのか。
----------	-----------------------------

【市の考え方】その他

「安全・安心・快適」分野の基本政策4に該当します。

要望 78	基本政策が目にはパッと入って来ない。もう少し文字を大きくするなどインパクトが欲しい。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見として承ります。

(1) 産業経済（意見数 26 件）

○基本政策 1 世界を市場とする産業・サービスの創造

・政策 1 新たなひらめきを導くオープンイノベーションの推進

要望 79	浜松は「モノづくりのまち」として飛躍的な発展を遂げてきたが、工業製品等出荷額は 2016 年から静岡市にトップの座を奪われている。自動車業界は 100 年に一度の大変革期を迎えていると言われており、モノづくりに次ぐ新たな成長戦略として、音楽産業・観光産業・文化事業などを政策的に伸ばしていく必要があると考える。
----------	---

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策の検討の際に参考とします。

・政策 2 企業力強化による地域の稼ぐ力の向上

提案 18	「グローバル・サウス」の表現が難しいため、「途上国や新興国」の言葉に替えてはどうか。また、「創業や事業継承を希望する企業や個人」の「企業」を、前段に記載してある「地域企業」と統一し、「創業や事業継承を希望する地域企業や個人」に替えてはどうか。
質問 20	「サウス」とはどういう意味なのか。

【市の考え方】案の修正

国（内閣官房）においても「グローバルサウス諸国との連携強化推進会議」を 2023 年 10 月に設置し、開催しているため、10 年間の基本計画の期間を鑑み表現はこのままとします。用語の説明のため、参考資料として用語集を作成します。

また、いただいたご意見により、以下のとおり修正します。

《修正内容》

P15 政策 2 企業力強化による地域の稼ぐ力の向上

（修正前）

「創業や事業承継を希望する企業や個人に対し、新たな挑戦を包括的に支援します。」

（修正後）

「創業や事業承継を希望する地域企業や個人に対し、新たな挑戦を包括的に支援します。」

・政策 4 多様な人材の活躍促進

要望 80	「意欲のある人が生涯活躍できるよう、産業支援機関等と連携し」とあるが、「教育（学生）・福祉（障害者）・子育て支援（母親）など」とも連携が必要ではないか。働く＝産業支援という縦割りではなく、柔軟な仕組みが必要ではないか。
----------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

・政策 5 働き方改革等の推進

要望 81	働き方改革等の推進は浜松市（組織と職員）から率先して実施すべきだと思うが、いかがか。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 82	市外から、親の介護のために、浜松市に戻ってきている方がいる。就職先の創設など、Uターンしてきた人材をもっと活用できるよう、取り組むことが必要ではないか。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

・政策 6 魅力ある都心づくり

要望 83	旧松菱跡地を駐車場とし、イベント時は広場として使えるようにしてほしい。
----------	-------------------------------------

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

提案 19	街中で休憩できる空間が少ないため、都市部の空き家をリフォームし、誰でも休憩できる施設にしてはどうか。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 84	中心市街地は市内最大の商業地である。20年に及ぶ衰退は市の財政に重大な損失をもたらしているが、10年でやるべき肝心な政策が何一つ示されていない。中心市街地再生には、最大の消費者である郊外の住民を惹きつけるための都市機能の集積（浜松駅北口地区、松菱跡地、浜松城公園）と、郊外から消費者を送り込むための公共交通の整備、歩いて楽しめるまちづくりの三位一体の整備が必要である。
----------	--

要望 85	中心市街地のビルや建物が年々汚いのできれいに塗りなおしたり、汚れを取ったりした方が良いと思う。
----------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

○基本政策 2 スタートアップ・エコシステムの構築

・政策 2 市内企業とスタートアップとの連携

要望 86	市内企業とスタートアップとの連携のイノベーションはどのようなメリットがあるか、もう少し詳しく記載してほしい。
----------	--

【市の考え方】 その他

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

○基本政策 3 国内外に通用する魅力ある地域資源の創造

・政策 1 魅力ある観光コンテンツ造成による観光誘客の促進

要望 87	「DMO」や「MICE」等に用語解説をつけてほしい。また、省略されているのであれば、元の用語も記載してほしい。
----------	---

【市の考え方】 その他

用語の説明のため、参考資料として用語集を作成します。

要望 88	国内外に通用する地域資源の創造は、浜松市（組織と職員）から率先して取り組むべきだと思う。浜松市職員は市内観光をどの程度行っているか調査したことがあるのか。調査から様々な問題点が浮かび上がるのではないかと。市の主導の姿勢が乏しく書かれている内容に他力本願が多すぎると感じる。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 89	都市部の車道や歩道の花・植物を常に美しく保った方が良い。
----------	------------------------------

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 90	受け入れ態勢の整備に絡め、地域住民にもメリットがある政策（Wi-Fi 整備、ゴミ箱の設置、中山間地域など市内隅々を網羅する交通網の整備 など）を展開されてはどうか。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 91	話題性が期待できそうなスポットやイベントを建設・企画してほしい。
----------	----------------------------------

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

○基本政策 4 もうかる農林水産業の推進

要望 92	もうかる農林水産業の推進は、文言を変えてもらいたい。学校給食を地産地消にすることで、地域での循環をしていってほしい。それが、環境負荷の軽減にもつながると思う。
----------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。なお、本市では、学校給食において浜松産 12 品目の活用促進を図っており、今後も地産地消に取り組んでまいります。

・政策 1 農林水産業の担い手の確保と育成

提案 20	公務員の枠を拡大し、農林水産業従事者を公務員として雇ってほしい。農業を例にすると、耕作放棄地を市が管理をし、その他設備などを整える。そうすることで、担い手不足の原因の一つであるハードルの高さを下げることができ、未経験の方でもノウハウを学ぶことができる。また公務員のため収入も安定しており、若者たちの参入も期待できる。そして市で管理をすることで、管理地同士で協力しあうことができ、管理・運営も簡単に行うことができる。収穫した作物を市民に向け、安く売りだすことができれば、地産地消を推進することができ、SDGs の観点からも環境にやさしい取り組みになるのではないかと考える。
----------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

・政策 2 農林水産物の販売力強化

要望 93	FSC 材と他の材との目に見える形での差が中々難しい。
----------	-----------------------------

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 94	浜松は食べ物が美味しく、ブランド化されている食材が多い。しかし、スーパーに行くと他地域から来る野菜のほう安く、消費者は安い商品を購入するため、地元の食材が売れない。地元食材・特産品があまり推されていない。アピールし、購入していただければ、農家にいい影響があるのではないか。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 95	天竜区に遊びに行き、自然が豊富だと感じた。浜松市は南に行けば街があり、西に行けば浜名湖がある。ご飯が美味しく、地域によって様々な特色があり、各所でもっと PR すると良い。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

・政策 3 農林水産物の生産性向上

要望 96	林道等基盤整備については、保守・点検のためのメンテナンスの予算をつけていただきたい。側溝・かん木等の手入れをお願いしたい。
----------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

・政策 4 地域資源の保全と活用

要望 97	現在の杉の市場では、間伐して花粉の出ない苗木に植え変えるのは、林家にとっても難しいのではないかと。杉材の値段が上がって、再造材コストまで十分賄えれば良いと思う。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

その他 6	今年既に米が流通しないという異常事態発生している。安全安心な農水産物の安定供給ができていない状態であり、儲かる農林水産業の推進に非常に期待している。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見として承ります。

質問 21	有効な規模でのブルーカーボンの導入を行うとすれば、どのようなことを想定されているのか説明をお願いします。
----------	--

【市の考え方】 その他

一例として、アマモ場の拡大に取り組むことを想定しています。

・政策 優良農地の確保と農業生産力の向上

質問 22	優良農地とは具体的にどのようなものか。
----------	---------------------

【市の考え方】 その他

一団のまとまりのある農地や、農業水利施設の整備などを行うことによって生産性が向上した農地など、良好な営農条件を備えた農地のことです。

(2) こども・教育（意見数 58 件）

要望 98	子どもや若者、子育て当事者等の「意見」ではなく、「権利」であるべき。意見が出なかった場合、人権を軽んじた政策が作られることもあるかもしれない。
要望 99	こども・教育のカテゴリーの一番最初に「少子化」という言葉が出てこと自体が、こども中心ではない自治体という印象を受ける。まず最初に、こどもが中心である、という前提を明記すべき。政策についても、こども向けの政策よりも、こどもを増やしたい自治体や、子どもの質を高めたい大人、子どもの親に対する支援が中心になっており、こども自身にとっての施策が盛り込まれていない。具体的には「子どもの人権を守る環境づくりの推進」や、困っている子どもや若者対象の相談窓口だけでなく、大人に合わせて苦しく背伸びしてがんばっているような、すべての子どもに向けて気軽に声を出しやすい仕組みの構築が求められる。こども基本法施行後の各自治体の計画には、こどもたちからの意見を取り入れることが通知として出されている。
要望 100	子どもが主体になっておらず、大人目線（市民主体にもなっていない、行政の事業計画）で考えた計画という印象である。 「こども家庭庁」が目指す「こどもまんなか社会」にある子どもの権利の擁護が図られることが、計画に盛り込まれていない。子どもの権利について、しっかりと計画に盛り込んで欲しい。
要望 101	「世界を舞台に活躍」することではなく子どもがありのまま認められて、自分の夢や希望する職業、家庭を持つことなどで生きがいをもち、安心して浜松でも暮らすことができることだと考える。そのための支援を受ける権利がこどもたちにはある。

要望 102	提案された計画の「取組の方向性」及び二つの基本政策は、子ども自身が「権利の主体である」という記述がないことに大きな懸念を持つ（「こどもの権利」という言葉そのものがない）。 それを反映してか、案では、従来からある「子どもは大人から保護されるべき存在」という考え方から出ていないものとなっている。この考えは、子どもの権利は大人から保護され、与えられる「権利」として、1951年「児童憲章」に定められたコンセプトをそのままにした、今や、化石のような考え方である。 1989年に国連で採択され、1994年に日本でも採択された「子どもの権利条約」。それを条文にまで取り込んだ2016年及び2022年の児童福祉法の改正。更にはそれをもとに2023年に施行された「こども基本法」及びその具体化である「こども大綱」では、「子どもが権利の主体である」ということから始まっているともいえるのですが、今回の浜松市総合計画基本計画の〈こども・教育〉には、それが一言もありません。 このままでは、「取組の方向性」「基本政策1」「基本政策2」等を具体的に推進するに当たって、施策展開が「子どもが権利の主体である」という理念をベースに置いて行われない懸念を強くする。 浜松市の総合計画においては、こども基本法やこども大綱の出発点である「子どもが権利の主体である」という考え方を取り入れていただきたい。国が掲げた方針（「子どもが権利の主体である」「こどもまんなか社会」）に沿った計画を策定していただきたい。
要望 103	こども基本法に基づいた、子どもが権利の主体者であることの視点が薄いように感じる。「こども若者の参加をすすめ、こどもの権利が保障されたまちづくりをすすめていく」というような方向性を入れてほしい。
質問 23	「こどもの権利の擁護」が入っていないのはなぜか。

【市の考え方】案の修正

いただいたご意見により、以下のとおり修正します。具体的な取組は、個別計画を定める上で検討していきます。

《修正内容》

P21 10年後（2034年）の理想の姿

（修正前）

「全てのこどもや若者が、生まれ育った環境や家庭の経済状況に左右されることなく、将来に夢や希望を持つことができる。」

（修正後）

「全てのこどもや若者が、生まれ育った環境や家庭の経済状況に左右されることなく、権利の擁護が図られ、将来に夢や希望を持つことができる。」

提 案 21	こども基本法が昨年施行されたにもかかわらず、第3条1項にうたわれる「基本的人権」についての記載がない。こども基本法で反映されているのは「意見を尊重し」の部分のみ。10年後の理想の姿として、「全てのこどもの基本的人権が守られ」という文言を入れるべきだと思う。また「自分らしさ」というのは、常に他者や環境の間で揺れ動くものであり、「自分らしさ」として意識されること自体がこども自身にとって苦しいものになってしまう可能性がある。「自分らしさ」というよりは、「他者と異なっているけれども自己肯定感を持つことができたり、自尊心を保つことができる」ことが重要である。「自己肯定感」や「自尊心」というワードを入れるべきだと思う。
--------------	--

【市の考え方】案の修正

いただいたご意見により、以下のとおり修正します。具体的な取組は、個別計画を定める上で検討していきます。

また「自分らしさ」で苦しむこどもたちがいないよう、自他の「自分らしさ」を認め、互いに尊重しあいながら、誰もが活躍できる環境の実現を理念として取り組んでまいります。

《修正内容》

P21 10年後（2034年）の理想の姿

（修正前）

「全てのこどもや若者が、生まれ育った環境や家庭の経済状況に左右されることなく、将来に夢や希望を持つことができている。」

（修正後）

「全てのこどもや若者が、生まれ育った環境や家庭の経済状況に左右されることなく、権利の擁護が図られ、将来に夢や希望を持つことができている。」

要 望 104	基本計画全体にジェンダーや多様性という言葉がほとんど出てこない。この基本政策では、ジェンダーフリーな対応をすることをしっかり明記してほしい。また、子どもたちの自立心や人権に配慮した環境を整えていくことも是非書いてほしい。
---------------	---

【市の考え方】今後の参考

ジェンダーや多様性については、まちづくりの基本理念の「(4) 共助型社会の構築」において「一人ひとりが持つ違いを認め、尊重し合い、誰もが個性や能力を生かして、自分らしく活躍できる社会を構築します」と記載しています。

また、分野別計画の「こども・教育」の基本政策2や「環境・暮らし」の基本政策3にも、社会的包摂性やユニバーサル社会の実現に向けた政策を記載しています。

いただいたご意見により、以下のとおり、こどもの権利について追記します。具体的な取組は、個別計画を定める上で検討していきます。

《修正内容》

P21 10年後（2034年）の理想の姿

（修正前）

「全てのこどもや若者が、生まれ育った環境や家庭の経済状況に左右されることなく、将来に夢や希望を持つことができる。」

（修正後）

「全てのこどもや若者が、生まれ育った環境や家庭の経済状況に左右されることなく、権利の擁護が図られ、将来に夢や希望を持つことができる。」

要望 105	「将来の理想の姿」が、期待が大き過ぎると感じる。特に障害のあるこどもや家庭に課題があるこどもには酷な言葉だと思う。活躍するしないに関わらず、「浜松に生まれてきてよかった」と思えることが大切ではないか。
-----------	--

【市の考え方】その他

浜松に対する愛着心、郷土愛の醸成は大切であると考えており、今後も地域と連携した取組を推進していきます。

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしていまいります。

要望 106	理想の姿の「自分らしさを大切に」「互いを尊重し合う」から派生し、取組に「幼児からの性教育」を追加してほしい。理由は幼い頃からのプライベートゾーンを知ること、人に触らせてはいけないところ、みられてはいけない所、見せてはいけないところから始まり年齢に合った性教育は子供が自分の身を守ること、他者を大切に扱うことにつながっていくと思う。
-----------	---

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

提案 22	教育を行う親に対して、教育に関する講習会を開くなど支援を行うことにより、質の良い教育を受けた子どもが増え、学校生活のトラブルも減るのではないか。
----------	--

【市の考え方】今後の参考

家庭教育力の向上は重要であると考えます。ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 107	「魅力ある優れた『はままつの先生』の確保や魅力向上に取り組むとともに」とあるが、他地域からも注目されるくらい大きな差別化を伴わないと実現できず、具体的な展望を示すべきである。現実には、魅力のありすぎる先生は職場で叩かれる可能性もある。その保護も考えるべきであるが、考えを示していただきたい。
-----------	---

【市の考え方】 今後の参考

教員の魅力向上と併せて、全ての教員が安心していきいきと働ける環境を整えていく必要がある考えます。ご意見については、今後の施策の検討の際に参考とします。

要望 108	「学習指導要領の着実な実施に取り組むとともに、全てのこどもの能力・可能性を引き出す学びや支援の充実を図り、自分や浜松の未来を創る人づくりを目指します」とあるが、「学習指導要領の着実な実施」は最低限の目標なので、実現できていなければいけないものである。また、「全てのこどもの能力・可能性」というのは、全てがこどもにかかるのか、能力にかかるのか明確でない。前者であれば、すべての子供のごく一部の小さな能力を引き出しても目標達成なので、目標レベルが低い。
-----------	--

【市の考え方】 その他

取組の方向性では、10 年度の理想の姿の達成に向けた姿勢、取組を記載しています。「学習指導要領の着実な実施」は、理想の姿の達成に向けて継続すべき取組として記載しているものです。

「全て」という言葉は、「こども」にかかるものです。誰一人取り残すことのない教育を実現するという考えのもと、「全てのこども」という表現にしています。

提案 23	「教育の DX」とはどういう意味なのか。専門用語の解説を入れたらどうか。
----------	--------------------------------------

【市の考え方】 その他

用語の説明のため、参考資料として用語集を作成します。

質問 24	15～18 歳までの「こども」に対する支援を行う部署はどこになるのか知りたい。
----------	---

【市の考え方】 その他

主に「こども家庭部」です。

質問 25	義務教育後の15～18歳のこども（有業無業に関わらず）に対する支援体制を早急に整備する予定はないか。
----------	--

【市の考え方】盛り込み済

政策6に記載している「こども・若者総合相談センター」を令和6年10月1日に開設し、概ね15歳から39歳のこども・若者やその家族の相談に応じ、必要な情報提供や、個々の状況に応じた必要な支援を行って、その成長、自立を支えていきます。

要望 109	高校生は県立・市立・私立で管轄が異なり、浜松市教育委員会では対応できない。市立以外の学校とは連携が取れないなどとされているが、「浜松のこども」に対して、行政と教育委員会をつなぐ部署の創設など、浜松の大人として彼らに責任を持って支援を提供すべきだと思う。
-----------	--

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 110	浜松市内には大学が少なく、そのため多くの若者が進学のために、転出しているため、市立大学を設置して欲しい。 大学を設置することで、市内外問わず、高校生たちの選択肢の一つとなり、多くの若者が浜松に移住してくる。そして大学在学中に、浜松について知ってもらい、浜松での就職を増やすことも可能になると感じる。若者の人口が増えれば、市の活発化につながり、少子高齢化を止める一つの要因になるのではないかと考える。
-----------	--

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

○基本政策1 全てのこども・若者が健やかで幸せに成長できるまちづくり

・政策1 少子化対策の推進

要望 111	30歳までに子供を産みたいが、先輩方から、金銭面の不安から仕事を辞めることができず、結果子供を産むことができないと聞いた。そこに対する不安が大きく、自分の将来をうまく想像できない。子供にお金がかかり、今は1500万円かかると言われている。自分の将来を考えたときに、自分たちの収入、物価、そのお金を解決できるか不安である。家庭の中だけでは解決できないので周囲の助けも必要であり、子どもを育てる母親や家族などの不安を取り除くような支援を手厚くする必要がある。
-----------	---

【市の考え方】盛り込み済

取組の方向性に「社会全体でこどもの育ちや子育てを支え、こどもや若者、子育て世代の将来不安を払拭し、みんなが幸福を実感できる社会を目指します。」と記載しています。

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

質問 26	効果的な政策とは何か。またそれをするために必要なのは何か。
----------	-------------------------------

【市の考え方】その他

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

質問 27	もう少し具体的なことを書くとより全体的にイメージしやすいのではないか。例えば P23 の地域のニーズとは何か。
----------	---

【市の考え方】その他

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

なお、令和5年度に本市が実施した少子化に関する調査では、結婚願望がある方で、結婚に対する不安なことは、「経済的な不安」が最も多いため、そのニーズを踏まえて結婚新生活支援事業を行っています。

要望 112	一児の母として思うことはこれから子供を産み、その子供が幸せに暮らせる未来を想像するのが金銭面や気候変動による環境の変化など、さまざまな影響により難しい。結婚して子供が欲しい人も控えてしまうのではないか。出会いのきっかけや結婚に伴う新生活のスタートの支援も大事だと思うが、そこから先の生活、未来に向けた具体的な支援や取り組みの表記が必要である。
-----------	---

【市の考え方】盛り込み済

取組の方向性に「社会全体でこどもの育ちや子育てを支え、こどもや若者、子育て世代の将来不安を払拭し、みんなが幸福を実感できる社会を目指します。」と記載しています。

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

要望 113	結婚・出産後、会社や職場など社会での女性の立場を保障しなければ子供を産まず、少子化はなくなる。
-----------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 114	天竜区の少子化は、直近 10 年間の出生者数は 50%も減少しており、深刻な状況である。2024 年の出生者数はわずか 59 人、高齢化率は限界集落の一步手前（47.4%）にあり、迅速かつ大胆な対策が必要である。豊富な森林資源を活かし、若者にとって魅力のある新たな成長産業と雇用を生み出していく必要がある。
-----------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 115	この政策 1 は、あまりに時代にそぐわないと感じる。浜松市は、若い女性の市外への転出が多いと聞くが、先ずやることはなぜ転出が多いのかの理由をみつけ、それを改善するための方策を練ることではないか。その問題を放置して、この文章を入れても具体性に欠け、実現は難しいと考える。少子化対策は、市にとってとても重要な問題であり、簡単に片付けず、じっくり対応する気持ちが無ければ、解決することは難しい。
-----------	--

【市の考え方】 今後の参考

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

提案 24	「結婚を希望する方への出会いの機会の創出や、結婚に伴う新生活のスタートを支援します」とあるが、的外れに感じる。結婚しても子どもを産む・産まないは個人の自由である。他の地域と比較した際、浜松で子どもを産み育てたいと思うような施策（市が子育てにかかる費用を全額負担など）を打ち出す方が先ではないか。また里親への支援や、独身だが出産を希望する人への支援体制を整備するなど、「浜松で産むメリット・育てるメリット」を掲げるべきだと思う。
----------	---

【市の考え方】 今後の参考

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

・政策 2 こども・子育て当事者へのライフステージに応じた切れ目のない支援

質問 28	「こども・子育て当事者へのライフステージに応じた切れ目のない支援」の「こども」は何歳までを想定しているか。
----------	---

【市の考え方】 その他

18 歳までのこどものライフステージに応じた切れ目のない支援です。

質問 29	「デジタルの活用」は、子育て世代に対して活用するのか。それとも子どもに対して活用するのか。
----------	---

【市の考え方】 その他

子育て世代に対して活用することで利便性の向上を図ります。

要望 116	子育ての悩みを気軽に相談できるアプリの作成やストレス解消法をSNS等にて発信し、親のストレスを減らし、親のストレスによる子どもへの害をなくす。
-----------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

・政策4 多様な保育ニーズに対応した幼児教育・保育の提供

質問 30	定員確保はどのように行うのか。
----------	-----------------

【市の考え方】 その他

老朽化した施設の整備や、幼稚園の認定こども園移行に合わせた保育定員の設定などにより、保育定員を確保していきます。

質問 31	教育・環境の充実とあるが、現在、何が問題で現場の職員はどのような意見なのか。また、どんな改善方法があるか。
----------	---

【市の考え方】 その他

保育士等の確保は課題となっています。保育士等の確保対策に取り組み、手厚く配置することで、保育士等の負担軽減を図るとともに、より良い幼児教育・保育を提供していきます。

・政策5 質の高い幼児教育・保育の提供

要望 117	今後家庭を持つことを想像すると、一人ひとりが不安を持たないようになることが大事。子供や保育士に向けた支援を豊かにしていけば、不安が軽減できるのではないか。
要望 118	保育士の給料を上げるなど、この職についていてよかったと思える環境ができると良い。

要望 119	保育士を目指している立場として、保育士の待遇や介護士の職場状況など問題になっていることが気になっている。資格を持っている人が安心して働くことができる施策を浜松市が取り組んでいくことが必要。
要望 120	市独自で幼稚園教諭、保育士に対する賃金の手当を支給するのはどうか。理由は0～6歳というこれから生きていく基盤になる大切な時期に関わる職業なのに報酬が見合っていないと感じる。夢を志して職についても、労働に対して低賃金では保育士不足に拍車がかかってしまう。子供と携わる人に投資することによって、保育の質にも良い影響があるのではないか。

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

○基本政策 2 自分や浜松の未来を創る人づくり

・政策 1 未来の創り手に求められる力の育成

質問 32	主体的な授業にするためにどのようなことをするのか。
----------	---------------------------

【市の考え方】 その他

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

質問 33	学習指導要領の実施とは何をするのか。
----------	--------------------

【市の考え方】 その他

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

要望 121	学習指導要領ではなく、憲法に沿って教育を実施して欲しい。
-----------	------------------------------

【市の考え方】 その他

日本の教育に関する根本的・基礎的な法律である教育基本法の前文には、日本国憲法の精神に則り、法律を制定する旨が示されています。

学習指導要領は、教育基本法及び同施行規則の規定に基づいて文部科学大臣が教育課程の基準として示されているものです。本市では学習指導要領の着実な実施により、こどもたちの資質・能力の向上を図ってまいります。

・政策 2 多様なニーズに対応した学びや支援の充実

要望 122	教育者、地域の方々、塾の先生など、こどもを取り巻くすべての人たちに向けて、人権教育をする政策をすべきである。特にトランスジェンダーの子どもや、不登校の子どもたちに対する理解については、学校現場ですら浸透しきれていないなかで、子どもたちが地域で傷ついてしまうことがある。地域全体であたたかく「ありのまま」を見守るために、地域対象での人権教育の推進を政策に加えて欲しい。
-----------	---

【市の考え方】その他

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

その他 7	社会的包摂性など専門的な言葉が多かった。
----------	----------------------

【市の考え方】その他

用語の説明のため、参考資料として用語集を作成します。

・政策 3 「はままつ先生」の魅力と資質能力の向上

要望 123	「多様なニーズ」を政策へ反映させるためにアンケート調査など行う予定はあるか。限りある予算を効果的に使うためにもニーズの調査は必要である。
-----------	--

【市の考え方】今後の参考

こども一人ひとりの教育的ニーズを把握するなかで、支援の充実に取り組んでいきます。ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

提案 25	「多様なニーズを有するこどもたち・・・」は 多用→多様ではないか。
----------	-----------------------------------

【市の考え方】案の修正

字句の誤りのため、修正します。

《修正内容》

P25 政策 2 多様なニーズに対応した学びや支援の充実

(修正前)

「多用なニーズを有するこどもたち」

(修正後)

「多様なニーズを有するこどもたち」

提案 26	多様なニーズの例の中に、「・・・日本語能力など」となっているが、単に日本語の問題だけでなく外国につながるこどものことを意味していると思われるので、「障害や不登校、在住外国人など・・・」のようにした方がよいのではないかと。または「不登校、在住外国人など・・・」のようにした方がよいのではないかと。また、分野として性的マイノリティも入れた方がよいと考える。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 124	「多様な学びの場の提供や支援の充実を図ります」とは、どのような支援なのか、具体的に場の提供や支援内容について明記をして欲しい。
-----------	---

【市の考え方】 その他

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

提案 27	安全に適さない校則の見直し（雨天時の地味な雨具の使用）や校内外での盗撮など性犯罪の予防（児童生徒・教職員への性教育、デジタル犯罪に対する教育など）も加えるべきではないかと。
----------	--

【市の考え方】 その他

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

質問 34	「学校における働き方改革」とは、具体的にはどのような改革を行うのか。
質問 35	働き方改革とは何をどうするのか。

【市の考え方】 その他

「学校における働き方改革」は、教職員のワーク・ライフ・バランスの充実と、教職員が心身ともに健康的に教育活動に従事できる環境を整えることで、教育の質の向上を目指すものです。

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

要望 125	働き方改革を推進することをより多くの人に伝えることで、現在の教員の魅力向上に加えて、教員を目指す若者が増えるのでないか。
-----------	--

【市の考え方】 今後の参考

学校における働き方改革は、社会全体で取り組んでいく必要があると考えています。ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

質問 36	教職の魅力向上とは、働き方改革によって行われるのか。それとも人材育成によって行われるのか。
----------	---

【市の考え方】 その他

働き方改革と人材育成の両輪で行ってまいります。

要望 126	なるべく余分仕事を省いて残業を減らし、生徒ときちんと向き合う時間が確保できたりするようにして欲しい。
-----------	--

【市の考え方】 今後の参考

今後も学校における働き方改革を推進してまいります。具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画を定める上での参考とします。

その他 8	小学校の先生は大変であり、一人で 30 人は見れないと思った。
----------	---------------------------------

【市の考え方】 今後の参考

ご意見として承ります。

要望 127	教員はもう少しゆとりを持てる勤務時間の方がいいと思う。また残業代を増やした方がいい。
-----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 128	魅力ある優れた教員とはどのような教員が具体的に記載されていない。教員を目指す学生がどのような教員がいいのか想像しにくい。
-----------	--

【市の考え方】その他

本市の教員として求められる資質能力については、「浜松市教員育成指標」において示しています。

質問 37	「教員のウェルビーイングの向上」とは何か。
要望 129	ウェルビーイング向上など分かりにくいと感じた。

【市の考え方】その他

教員が心身ともに健康で、幸せややりがいを感じながら仕事に取り組むことができる状態のことです。

ウェルビーイングについて、参考として用語集を作成します。

要望 130	教職の魅力向上、教員のウェルビーイング向上は、とても良いと思う。
-----------	----------------------------------

【市の考え方】今後の参考

ご意見として承ります。

・政策 4 安全・安心に学べるより良い教育環境の整備

質問 38	「いじめ」について取り上げられていないのはなぜか。
----------	---------------------------

【市の考え方】案の修正

いじめ問題への対応など、学校安全の推進は、学校・家庭・地域が連携して取り組んでいく必要があると考えており、以下のとおり案を修正します。

《修正内容》

P25 政策 4 安全・安心に学べるより良い教育環境の整備

（修正前）

「家庭・地域・関係機関などとの連携・協働により、学校安全の推進を図ります。」

（修正後）

「家庭・地域・関係機関などとの連携・協働により、登下校における安全確保やいじめ問題への適切な対応など、学校安全の推進を図ります。」

(3) 安全・安心・快適（意見数 77 件）

要望 131	安心・安全も悪くはないが、それを目指しつつ、危険を避ける能力教育、しくみの整備も必要である。
-----------	--

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

提案 28	緑や花、公園計画はとても大事なことだが、災害に備えた計画と同じ項目に並べることに違和感を感じる。このような内容は環境や暮らし、もしくは文化に入れるものではないか。
----------	---

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

質問 39	拠点ネットワーク型都市構造により居住エリアの集約が成功したとして、他の土地には何を構築するのか。
----------	--

【市の考え方】その他

まちづくりの基本理念の「(6) 拠点ネットワーク型都市構造の形成」に記載のとおり、居住エリアの他には、農業や工業などの産業を振興するエリア、自然環境を保全するエリアなど、整備と開発、保全のバランスが取れた都市空間の構築を目指します。

○基本政策 1 みんなの力で自然災害から生き残る

・政策 1 逃げ遅れゼロに向けた備えと避難行動の推進

要望 132	急激に進む温暖化、南海トラフ地震、台風、線状降水帯、ゲリラ豪雨と災害の心配・不安が年々高まっている。本項目に書かれていることは曖昧で甘い予測であり、市民が到底「安全・安心・快適」と思えない。 さらに、他の防災計画との連携について、もっと市民にもわかりやすく伝え、いざというときに混乱が生じないを考える。本当に災害被害者を最小限に抑え、逃げ遅れを出さないための指針を明確かつ具体的に示してほしい。
-----------	--

【市の考え方】その他

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

要望 133	災害の時の水の使い方を広報などで教えて欲しい。
-----------	-------------------------

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 134	災害時の逃げ遅れを無くすためには、避難者に「命が失われる」という怖さを強くアナウンスした方が良い。
-----------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 135	南海トラフ地震発生時の津波対策として、防砂林に盛り土をして海拔高度を上げること、今切口からの流入対策や浸水エリア居住者が移転希望した場合の補助を行い、津波浸水被害 0 の達成を目標にしてほしい。 避難所、避難タワーへ行くことは事後対応ととらえ、避難が必要ない環境整備を目指すべきである。
-----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 136	災害を自分事と捉えるための出前講座を学生のみならず、大人も参加できるような環境でも行ってほしい。
-----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 137	適時、適切なタイミングでの避難行動の判断材料を講座を通して知りたい。最近の気候は想定外の大雨もあり、不安定であると感じている。特に町内アナウンスは雨の音で消されてしまい聞こえづらい。気候だけでなく、地震によって災害が起きる可能性もあり、必要不可欠な市民の安全に関わる政策について特に興味がある。避難行動を確実にとれるように事前準備として住宅の耐震性などに加えて避難時に必要なものもある。様々な情報を伝えるため、ページに出前講座以外の例を追加するのはどうか。
-----------	--

【市の考え方】 その他

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

要望 138	能登地震のような大規模災害発生時に、浜松市は早期に復興できるよう対策を考えているのか。自然災害の被害に対する対策をすべきである。
-----------	--

【市の考え方】その他

自然災害に対しては、浸水被害の防除及び軽減、安全で安心して利用できる道路ネットワークの構築、市民の防災意識の向上など、ハードとソフトの両面による災害に強いまちづくりを行っていきます。具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしていまいります。

要望 139	自助、共助はあるが、公助がない。明記をお願いする。
-----------	---------------------------

【市の考え方】盛り込み済

政策１には、公助として「迅速かつ的確な避難情報の発信、伝達を行います」と記載しています。また、記載内容全般が、公助として、自助や共助を促すための取組について記載しています。なお、具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしていまいります。

要望 140	自分の生命・財産は自分で守るという自覚と、住宅の耐震化や適時・適切な避難行動を呼び掛けている一方で、津波の心配のない市営球場を廃止して、津波と液状化の危険性の高い沿岸部に、「ドーム球場」の建設を県に要望しているが、政策的・財政的に重大な問題がある。津波浸水時には２万人の観衆が孤立する可能性があり、危機管理上、政策の見直しが必要である。ドーム球場は市民の５２％が反対（静岡新聞アンケート）しており、真摯に市民の声に耳を傾ける必要がある。
-----------	--

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

・政策２ 災害関連死ゼロに向けた避難生活環境の維持改善の推進

要望 141	「各種団体や関係機関がともに協働・連携して・・・」に「行政が中心となり各種団体・・・」と「行政が中心となり」を入れて欲しい。
-----------	--

【市の考え方】案の修正

政策２では、行政が避難生活環境の維持改善を行うことを前提として記載していますが、行政が実施していると読み取りやすいよう、以下のとおり修正します。

《修正内容》

P29 政策 2 災害関連死ゼロに向けた避難生活環境の維持改善の推進

(修正前)

「各種団体や関係機関がともに協働・連携して在宅避難者を含めた被災市民の生活環境の維持・改善に努めます。」

(修正後)

「各種団体や関係機関とともに協働・連携して在宅避難者を含めた被災市民の生活環境の維持・改善に努めます。」

○基本政策 2 市民が集う活力ある都市づくり

・政策 1 持続可能な都市づくりの推進

質問 40	都市計画マスタープランとは具体的にどのようなプランなのか。
----------	-------------------------------

【市の考え方】その他

「都市計画マスタープラン」は、本市総合計画などに即し、都市計画法第 18 条の 2 に基づく「市町村の都市計画に関する基本的な方針」として定めた計画で、本市が決定する目指すべき将来都市構造を「拠点ネットワーク型都市構造」としています。

本市が決定する土地利用、都市施設、市街地開発事業などの都市計画は、本計画に即して定められることとなります。

質問 41	コンパクトな都市形成の推進とは何のことか。
----------	-----------------------

【市の考え方】その他

まちづくりの基本理念の「(6) 拠点ネットワーク型都市構造の形成」及び「図：それぞれのコンパクトな拠点をつなぐネットワーク型都市構造」で示すように、都市機能が集積した複数の拠点と拠点間を結ぶ公共交通を中心に都市が集約し、拠点間が有機的に連携されたコンパクトな「拠点ネットワーク型都市構造」の形成を推進するということです。

要望 142	大型車両が駐車できる駐車場の整備など、大型車両に関するトラブルを軽減してほしい。
-----------	--

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 143	施設やまちづくりをする時は十分な駐車場、トイレ、交通網をセットにして考えるべきである。
-----------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

質問 42	公共交通の利便性を活かすとは、具体的に説明して欲しい。
----------	-----------------------------

【市の考え方】 その他

公共交通が利用しやすい環境においては、過度に自動車に依存することなく、適度な徒歩環境を伴うことで、高齢者をはじめ、誰もが健康的で利便性の高い日常生活が可能になると考えられることから、公共交通沿線に歩いて暮らせる居住地の形成を図ります。

・政策 2 開発と保全が調和する土地利用の推進

質問 43	開発と保全が調和する土地利用の推進について、具体的にどのようなことか。単なる開発促進に動くだけで乱開発につながるのではないか。
----------	---

【市の考え方】 その他

拠点ネットワーク型都市構造の実現に向けて、市街地外においてもメリハリのある土地利用の推進するため、自然環境と農地を保全しながら適正な土地利用が図られるよう開発許可制度の運用を進めて行くことを指します。

・政策 3 多様なくらしに対応した公共交通の確保

質問 44	地域公共交通における（リ・デザイン）とは何か。
----------	-------------------------

【市の考え方】 その他

地域や交通事業者、行政が連携し、デジタル技術の活用などにより地域公共交通の利便性や生産性・持続可能性を高める取組を指します。

要望 144	MaaS の決済連携を容易にするためにも Suica 連携は必須であり、連携により他地域からの旅行者の利便性が良くなる。自動運転については、現状、レベル 4 の自動運転がそれに適したインフラを整備した地域限定で実施されており、コスト的にも技術的にも現実的ではあり、浜松市として自動運転技術に直接関わるのであれば、もっと具体的に記載すべきである。
-----------	--

【市の考え方】 今後の参考

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしていまいります。

要望 145	遠州鉄道以外の小さい会社も参入できるように市が権限を持って市民が利用しやすい交通網を指導し再編する。またトイカやスイカと連携し、開かれたまちのバス、鉄道にしていく。
要望 146	浜松はナイスパスしか使えず不便。静鉄は多種 IC カード、クレジットカードも使える。交通網での柔軟性は必要である。
要望 147	ナイスパスだけなのはめんどくさい。市外は、スマホとかアップルウォッチでスイカ、パスモが使えるが、浜松は、ナイスパスか現金払いのみで現代社会に合っていない。

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 148	他市でも導入されているバスの一律料金制度を導入してはどうか。利用者増加、それによる環境負荷低減、利便性向上につながる。IC カードの普及にて乗車券削減、CO2 排出抑制も行うことができる。健康リスク軽減など、多くのメリットが考えられる。
-----------	--

【市の考え方】 盛り込み済

IC カードの普及については、キャッシュレス決済システムをすでに導入しています。ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 149	便利な自家用車が多すぎ、バス、電車は少なすぎる。浜松は交通事故 14 年ワーストワンであり、一市民として、自他共に愛し、愛され、浜松をずっと、もっと愛してゆきたいと思っている。
-----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 150	地域公共交通のリデザインを掲げ、「Maas や自動運転といった新たな交通システムなどの導入を検討し、公共交通サービスの向上を図る」としているが、「Maas」も「自動運転」も、浜松市が抱えている根本的な交通問題を解決できる政策ではない。Maas は公共交通がベースとなるため、公共交通の脆弱な浜松には向いていない。うえ、「自動運転」は研究段階にあり、少量輸送に適したものである。クルマ依存社会から脱炭素社会への転換に寄与するものではない。「先送りできない課題」を明記したうえで、10 年で解決すべき「重点施策」を明確に示す必要がある。
-----------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

要望 151	この案には 10 年以内に実現できる具体的な案がみられない。浜松市は軽自動車保有台数全国 3 位（平成 27 年自動車検査登録情報協会）であり、排気ガス排出量も少なくなく、その状況で、これを課題に上げないということとはありえない。 これの一番の解決策は公共交通を充実して自家用車を減らすことである。 地域産業の 1 つに軽自動車生産があるから、その保有台数を減らすことはあり得ないと考えているのか。
-----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 152	「鉄道駅のバリアフリー化」が記されているが、具体策が示されていない。10 年でやるべき課題として、JR 線「弁天島駅」と、遠鉄線「西鹿島駅」のバリアフリー化、遠鉄線高架駅のエレベーター・エスカレーターの整備をめざす必要がある。
-----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 153	公共交通とマイカーの利便性をミックスした、「幹線交通・支線交通・デマンド交通・ラストマイル」で構成する体系的な交通ネットワークを提案する。
-----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 154	公共交通機関は遠州鉄道が独占している。他市に行ったときはいろんな路線があり、様々な場所にアクセスがしやすかった。浜松は、鉄道はJRと赤電しかないため、競合相手がおらず、そのため無理に挑戦する必要もなく、大きな改善はされない。バス電車の運転手が減っているのも課題。なかなか改善は難しい。
-----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 155	人口減少により経済も税収も落ち込んでいくことから、広大な市域を末永く維持していくには、郊外に拡散した都市を効率の良いコンパクトな都市に再整備していく必要がある。浜松駅など鉄道駅を中心とする「拠点集約型」都市づくりと、主要拠点間を結ぶ基幹交通（LRT 計画）の「沿線集約型」都市づくりを重点施策として推進していくことで、メリハリの効いたコンパクトシティを形成することができる。LRTによるコンパクトな都市づくりは宇都宮市が取り組んでおり、中心市街地の求心力・集客力を高めるとともに、沿線周辺の利便性・快適性を飛躍的に高め、都市化を誘導することができ、投資以上の経済効果が得られることを立証してくれている。
要望 156	タクシー乗務員として市内を運転しているが、交通事情の悪さは目に余る。 とりわけ朝夕の高台地域の渋滞の酷さ、文京地域の学生の自転車無法地帯かつ彼らのアクセスの不自由さには目を覆うばかりである。これからの将来を担う彼ら若い世代のため、またそれ以外にも自動車免許を所持しない外国人住民と、高齢化による買い物難民の増加する中、一律かつ安価、シンプルにたくさんの人が一度に移動できる交通手段としてのLRT 三方原本線は必須ではないかと強く必要性を感じる。

要望 157	中心市街地の活性化は、現在のバスターミナル（以下バスタと記する）を中心とする大規模整備からである。無論、松菱跡地の有効活用を含めての着手である。 ・現バスタは、既に 40 年を経る。浜松の最重要交通結節点の現バスタも、年々「利用客の激減」から交通結節点の機能の衰退が目立つ現状では、浜松駅前唯一の一等地を占有する意義は失われている。早急に改善対策の検討を提案する。 ・公共バス利用客の乗降は平面方式が当たり前で、最近の全国主要都市のバスタを参考にすべき。 ・現況のバスタを政令市の玄関口として魅力ある駅前ゾーンに再開発することが急務である。総合計画基本計画に組み入れすること。もちろん、プロポーザル方式で事業提案者を公募し、「商業施設・ホテル・オフィス・バスタ・新公共交通 LRT」等の複合高層ビル（15 階建て）に整備し、20 年放置された中心市街地の再生と駅前全体の活性化を図る。 ・宇都宮市は 8 月 26 日、新交通・LRT の開業 1 年を大成功で迎えた。 ・宇都宮では市長の強い決断力と努力で新交通、LRT 整備を見越した道路拡張（7 車線規格）、国交省人事交流、広電の人材招聘など戦略的実践が LRT 導入に大きな成果を生んだ。浜松、静岡は（5 車線規格）の道ばかり。 ・将来を見据えた（総合基計案）は周回遅れの社会資本整備から始めよ。
要望 158	20 年も続いた都心の「衰退」を止め「繁栄」に転じるには、「浜松駅北口地区」「松菱跡地」「浜松城公園」の一体的整備が不可欠である。JR「浜松駅」は市内最大の交通結節点として、高次な都市機能を集積した駅ビルとして整備し、同時に郊外から消費者を送り込む新たな交通モードを導入（LRT）し、一体的に整備する必要がある。松菱跡地は市庁舎と市美術館の老朽化対策として移転計画を推進し、官民連携による再開発事業を実現し、それに伴い浜松城公園は歴史・文化ゾーンとして再整備して、浜松駅から繋がる賑わいのあるメインストリートに変えていく必要がある。
要望 159	具体的な重点施策が必要である。浜松市は典型的なクルマ依存社会のため、クルマを利用できなくても移動に困らない社会に転換することが、行政と市民にできる最大の CO2 削減策となる。「LRT 導入によるコンパクトシティの推進」を重点施策に掲げ、10 年後の実現をめざすべきである。
要望 160	現実的には道路空間の確保は限られるので LRT などの公共交通を充実し自動車の交通量を減らす。また片側 1 車線道路は一方通行にして 1 車線分は LRT や自転車、そして歩道の拡張に利用する。交通安全意識の高揚は個人差があり、年齢や健康状況など意識ではカバーできない部分も多いので、LRT を含めた公共交通の充実をすることで高齢者や子供など交通弱者でも自由に安全に移動できるようにする。

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

要望 161	交通結節点がそもそも少なく、市民の公共交通利用を阻害している。団塊の世代が現役だった 20 年前に自動車利用が増え、バス利用が減ることは容易に想像できることである。その時点でバス路線を一時的に減らすことは仕方が無いが、その後、団塊の世代が後期高齢者になった現在においてもバス利用が少ないから路線を廃止したままというのは行政の不作为に他ならない。利用が少ないのでは無く、バス停が遠かったり本数が少なかったりして利用しづらいから利用しないだけである。 高齢者による自動車事故も多発している現代において、バスなどの公共交通を税金を投入してでも実施するのは行政の責任である。特に交通事故全国ワースト 1 の浜松市の行政責任は強く問われます。 それでも利用者が増えないというのであれば、以下の政策実施を検討すべきである。 ・大企業の自動車通勤を抑制する政策（公共交通を整備するまで猶予期間を設けつつ、整備後は駐車場に利用している土地に課税するなど方法はいくらかでもあります。） ・運転免許を持ってない高齢者に対するバス料金の助成。 ・利用者が少ない路線については一定期間、税金投入して通勤などに支障の無い本数の確保をする。一定期間後も利用者が増えない場合は路線沿線住民に警告の後、路線の廃止も検討する。
-------------------	---

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 162	直接行ける区間がバスや電車で限られてしまう。車が無いと行けるところが限られてしまう。
要望 163	放射線状の交通網で行ける場所が限られている。旧西区や旧東区、旧浜北に行けない。駅周辺に行くしかない。
要望 164	バスの航路の設定がおかしい。バスターミナル拠点、経由地を必要性に応じて再検討するのがよい。観光地や産業観光の場所に行く手段があまりない。バスは無駄を省いて広げてほしい。レンタサイクルなどが観光地に限らずどこでも借りてどこでも返せるとよいのでは。うまく配置してバスの手が届かないところに自転車を使うのが良い。
要望 165	浜松駅拠点ではなく、浜北にバスの拠点があってもいいのではないかと。
要望 166	バスの本数が減った。バス自体がなくなっている。バスの料金が都会より高い。駐車場のほうが安いので車で行くほうを選択する。

要望 167	まちなかに用事がない。買い物は周辺で済む。
要望 168	政令指定都市だが駅周辺に何も無い。駅周辺をどれだけ賑やかにできるか。
要望 169	バスの本数が少ないのでパルパルにも行きづらい。バスはあっても1時間に1本ぐらい。
要望 170	バスは全部浜松駅行きばかり。弁天島駅行きなど、浜松駅以外の場所に行くバス路線があれば、いろんなところに行きやすい。
要望 171	住んでいる地域が駅から遠いため、バスで浜松駅まで行って、駅からイオンに行くのは不便。
要望 172	バスが駅方向にしか向かっていない。横方向に向かうバスがなく、横移動が不便。行きたい場所があっても、浜松駅を経由して行く必要があり不便。駅が目的地でないとき、直接行くことができない。

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 173	18～23 歳の人が浜松市外に出る理由は、電車が鈍行しかなく不便だからである。豊橋～静岡で各駅停車以外の特急列車を作れば、もう少し若者の行動範囲が広がって遊ぶことができる。また、浜松から大学に通うという選択肢も広がる。静岡駅まで通うのも新幹線通学になってお金がかかる。浜松駅から歩ける距離となると、文芸大のみ。静大と浜松学院大学は駅から距離があり、坂もあって行きづらい。
要望 174	電車が各駅停車なのは痛手。学生、社会人の通学通勤時間帯に特急電車を作れば、周辺エリアから浜松に来る選択を取る人が増える。浜松市内で得たお金を浜松市内で使うだけではなく、名古屋で得た収入を浜松で使うと街が賑わう。
要望 175	車がどうしても多くなるが、環境に良くなく、交通渋滞が起こる、ガソリン代の負担などのデメリットが多い。乗り合いバスやカーシェアなどが増加すると良い。

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

・政策 5 都心の都市機能の強化

質問 45	都心の都市機能の強化とは、具体的に説明して下さい。
----------	---------------------------

【市の考え方】その他

都市の玄関口として、広域なネットワークを活かして交流や賑わい創出に資する商業・文化等の都市機能を有する施設の立地を誘導し、集積を図ります。

○基本政策 3 みどり豊かで、快適なまちづくり

・政策 1 緑化推進・緑地保全

要望 176	“浜松市”という市名にも関わらず、松の木が少ない。海岸近くの地域の方々と松を植樹してはどうか。
-----------	---

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

その他 9	ここ数年、公園の木の伐採、街路樹の手入れの回数が多くなり、きれいになってきたと思う。
----------	--

【市の考え方】今後の参考

ご意見として承ります。

・政策 2 都市公園の整備

質問 46	「都市公園の整備」と記載があるが、新規に公園つくるのか、または既存の公園を整備するのか。
----------	--

【市の考え方】その他

整備内容によって、新規公園の場合や既存公園の再整備場合があります。

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしていまいります。

要望 177	公園で遊ぼうと思っても、ボール遊び禁止、遊具が撤去され、禁止事項が多くて遊ぶことができない。今の大人たちが子どもの頃は公園で何でもかんでも遊べた環境だった。
-----------	--

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

・政策３ 都市公園の適正な維持管理

要望 178	使いやすい公園を維持するため、幼稚園・保育園、また小学校に正しい使い方を教える講座を開いてほしい。
-----------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 179	定期的に各公園の草刈りや整備をしてほしい。
-----------	-----------------------

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

・政策４ 動物園再生

要望 180	動物園を立て直すことには大賛成。やるなら多摩、ズーラシア、旭山に並ぶ全国のトップ動物園を目指すべき。東名スマート IC 至近というアドバンテージがあるので全国的にブレイクすれば、浜松市民に先駆けて全国からの来場者で大盛況になるはず。ただ、現在の浜松市の人事・給与体制では不可能。園の立地と広さは現場でも有利だが、獣舎の設計が古すぎるので抜本的に作り変える必要がある。しかし、最も大事なことは動物園の専門職を育て（ほかに異動させない、させるとしても他の動物園との人事交流）、現場の裁量を大きくし、予算も潤沢に投入しスタッフに博士学位取得者学芸員を常勤として雇用し、志の高い動物園を目指すべき。その覚悟がなければお茶を濁すレベルになるが、せめて、人と予算を投入すべき。舘山寺を盛り上げるには、ウォット（県立）を取り込んで水族園を併設するのも良いと思う。現在のウォットよりアクセスがよいのではないかな。
-----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 181	動物福祉に配慮した内容がとてもいい。浜松市動物園を訪れると、動物によって動物の特徴だけでなくその動物が自然界において置かれている状況や環境問題を手書きで書かれており、すごくいい取り組みだと思った。ただ、漢字で書かれているものが多く字も細かったため、読む人が限られてしまう。小さな子供から大人まで幅広い年齢層が訪れる場所であり、命の大切さや環境問題を知るのに密接な場所だと思うので市でも力を入れてもらいたい。
-----------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

○基本政策 4 災害に強く、安全で快適な社会基盤の構築と強化

・政策 1 安全で快適に移動できる道路空間の創出

要望 182	毎年、浜松に帰ってくるたびに道が舗装され、街がきれいになりしてとてもいい街だと思う。これからも進化し続けて欲しい。
-----------	---

【市の考え方】今後の参考

ご意見として承ります。

・政策 2 安全で安心して利用できる道路の確保

要望 183	子供のころ道路が危ないことがあったが、声を上げるもののしばらくそのままだった。すぐに整備することも難しい。相談することが難しい、すぐに対応することが難しい。こどもが言える場があるといい。
-----------	---

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 184	道ががたがたしているが、なかなか直らない。自転車で安全に通れるようにして欲しい。車道や街路樹などは整備するが、歩道はあんまり整備されない。
要望 185	凸凹の道を平らにして欲しい。また城北の坂から六軒道路までを 2 車線にして欲しい。
要望 186	成子交差点北の平田通りに入る道路を改良して欲しい
要望 187	主要道路の 7 車線規格を行うべき(中沢交差点～257 号線～一里塚橋)、(中沢交差点～152 号線～上島西)。車の増加や拡張未整備から慢性渋滞が発生している。

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

・政策 3 ハード・ソフト両面の交通安全対策の推進

要望 188	政令市 20 都市中、人身事故件数が 15 年連続ワーストの実情。この不名誉な実情について丸ごと抜けている。
-----------	--

要望 189	14年以上、政令市人身事故ワーストを脱却するという強い意思表示がないのはなぜか。浜松は交差点の信号無視がひどい。それを検挙して根絶するだけでも交通事故は半減するはずである。
-----------	--

【市の考え方】 今後の参考

交通事故防止は、市だけでなく警察や交通安全協会等関係団体、地域や学校が一体となって取り組むことが重要だと考えます。ご意見については、今後の施策の検討の際に参考とします。

○基本政策 6 健全な水循環に貢献する強靱で安全・安心な上下水道の経営

・政策 1 上下水道の施設強靱化等による防災・減災の推進

要望 190	公共下水道の設備工事が遅れており、具体的な整備完了時期を表記すべきである。下水道や浄化槽だけでなく、集落排水など他の方法も利用し、計画をしていただきたい。
要望 191	下水道の早期完工（環状線北の未整備遅れ）

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

政策 4 上下水道の組織体制の強化

提案 29	「上下水道に関する専門人材」とあるが、安定的なサービスのためにその人材の確保や技術力の継承は市の内部で実施されるべきと考えるので、文頭に「市職員による」と入れてほしい。
----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 192	「上下水道の組織体制の強化」の部分に、賛同する。とりわけ、上水道の専門職員が少なくなっていると聞く。その対策を充実して、技術の継承に力をいれて欲しい。さらに、公共の水道を維持して欲しいと思う。民営化では、利益追求になってしまうのは目にみえており、懸念されている災害時にも、公共の自治体同士の連携で、災害時の対策を普段からやっていって欲しい。
-----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

・政策 5 持続可能な上下水道経営の推進

要望 193	官民連携などによる経済効率化とあるが、効率化に民間が入るのはとても危険だと思う。民間は利益を出さないといけないため、時制が変われば条件も劣悪になる可能性がある。官民連携ではなく、市主導でとしていただきたい。
-----------	---

【市の考え方】その他

安全・安心な上下水道サービスの提供を持続可能なものにするため、経営効率化に努めることが公営企業としての責務と認識しています。なお、「官民連携」とは、市（官）が事業の実施主体として、民間事業者等と連携し、それぞれ互いの強みを活かすことによって、最適な公共サービスの提供を実現し、地域の価値の向上や市民満足度の最大化を図る手法です。

要望 194	冒頭、「官民連携などによる・・・」とあるが、水道民営化を視野に入れているとしたら慎重に判断しなければならない。国はコンセッション方式を進めるとのことであるが、利益の過少報告など情報の不開示や料金の上昇など海外の事例を見れば明らかである。また、海外での水道運営を民間に任せその後、再度公営化に戻した事業体は2000年から2017年の間で267事例もあり、多額の違約金も後に公営化に戻す際の足枷にもなりかねない。市の財政のやり繰りで進めていただくことを望む。
-----------	---

【市の考え方】その他

国が示すコンセッション方式には、民営化という概念は含まれていないものと認識しています。なお、「官民連携」とは、市（官）が事業の実施主体として、民間事業者等と連携し、それぞれ互いの強みを活かすことによって、最適な公共サービスの提供を実現し、地域の価値の向上や市民満足度の最大化を図る手法です。

要望 195	いまだに浜松市は「水道民営化」をやりたいように感じる。海外での失敗例に事欠かない民営化をなぜまだやりたいのか、理解できない。 ライフラインである「水」を海外の会社に委ねて安心した生活がおくれるか。 ましてや南海トラフ地震がいつ起こるかもわからないこの地区で、大きな被害がでたときに民営化されていて迅速な対応・修理ができるのか。 特に、ここにある「官民連携などによる」の言葉の裏に民営化の思惑があるのではと勘ぐってしまう。ここでの「民」とは誰を指すのか明確にしてほしい。 水道事業が赤字であるならば、値上げも仕方ないが、なぜ赤字になっているのか、赤字を解消するにはどのようにしたらいいのか、ここも具体的に書いてほしい。 甘い見通しばかりが書かれて、いきなり「民営化」や「値上げ」では市民も困る。今の状況をわかりやすく出してほしい。
-----------	--

【市の考え方】今後の参考

安全・安心な上下水道サービスの提供を持続可能なものにするため、経営効率化に努めることが公営企業としての責務と認識しています。なお、「官民連携」とは、

市（官）が事業の実施主体として、民間事業者等と連携し、それぞれ互いの強みを活かすことによって、最適な公共サービスの提供を実現し、地域の価値の向上や市民満足度の最大化を図る手法です。ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

質問 47	資金涵養とはどういう意味か。
----------	----------------

【市の考え方】 その他

本市上下水道事業は、人件費の削減や企業債残高の削減など経営合理化を積極的に推し進めてきましたが、人口減少に伴う料金収入等の減少や耐震化、老朽化対策事業費の増加などにより、経営環境の厳しさが増すものと認識しています。こうした中で、公営企業として独立採算の原則に則り、事業運営に必要な資金を確保し、引き続き耐震化・老朽管更新事業を推進するため、企業債の活用や適切な料金水準の設定などによる資金涵養（財源確保）が重要と考えています。

(4) 環境・くらし（意見数 18 件）

要望 196	家庭で使う電気を再生エネルギーに切り替えることを推奨する内容を入れて欲しい。電気の切り替えは WEB でも簡単に行うことができ、浜松市に浜松新電力があることを知らない方も多い。普段使う電気が再エネに切り替わるだけでも家庭の脱炭素は図れると思う。
-----------	--

【市の考え方】その他

家庭で使う電気の切り替えについては、個別計画である「浜松市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に示しており、家庭での再生可能エネルギー由来の電気の利用を推進することとしています。

要望 197	林業従事者不足の中で、伐採から製材・加工・再植林に至るまでの「循環サイクル」を確立し、未来型産業に発展させていくには大胆な変革が必要である。「バイオマス発電」「小規模水力発電」「CLT・チップ・ペレット生産拠点整備」を目標に掲げ、林業再生の起爆剤として先行投資を行い、若者に魅力ある新たな雇用を生み出していく必要がある。「バイオマス発電」と「小規模水力発電」は、第1期・第2期「浜松やらまいか総合戦略」に掲げられているが、10年間放置されたままであり、PDCA サイクルによる検証ができる実効性のある「基本計画」に改善する必要がある。
-----------	---

【市の考え方】その他

バイオマスと小水力発電については、「浜松市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき導入を進めています。バイオマス発電では、家畜ふん尿、木質バイオマス、生ごみを活用したプロジェクトを民間事業者や NPO と連携して推進しています。小水力発電も民間主導で導入が進められています。

○基本政策 1 カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現

・政策 2 脱炭素型ライフスタイルへの転換

提案 30	「市民のライフスタイルを脱炭素型に転換し」の言葉に脱炭素型に転換するために呼びかけをしていくなどの取り組みを入れた方がよいと思う。「転換し」という言葉だけなら、完全に目標に達するために、どうやって広めていくのかが疑問に思うから。
----------	--

【市の考え方】その他

「脱炭素型ライフスタイルへの転換」のためには、呼びかけの他、周知、啓発、支援など、様々な取り組みが必要となります。それらを「転換」という言葉に含めていることから、原文のままとします。

要望 198	脱炭素というが、自動車交通から公共交通への大転換は図らないのか。数人乗りの交通は、EV 化しても、ライドシェアがすすんでも、省エネと温暖化ガス排出削減効果は、中量・大量輸送公共交通にはかなわない。
-----------	--

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

要望 199	浜松独特の車依存型生活の意識改革の具体策を説明して欲しい。
-----------	-------------------------------

【市の考え方】その他

具体的な内容については、個別計画である「浜松市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に示しており、公共交通機関や自転車の利用、エコドライブの実践、カーシェアリングの利用など、脱炭素につながるライフスタイルを推進することとしています。

・政策3 市有施設の運営に伴う温室効果ガス排出削減

提案 31	家庭から発生する温室効果ガスを削減するため、新築はIHにし、災害時停電した場合にも使えるIHを開発できないか。
----------	---

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 200	浜松の脱炭素社会実現を語るには、企業活動の産業部門から排出される温室効果ガスの削減。特に車から排出されるCO2削減については、車の所有台数（人口10万人当たり）当市56万2千台、熊本市45万5千台、相模原市31万台でトップ。CO2削減も人身事故トップも車の総台数に因果関係あり。公共交通分担率4.4%の目標値の改善策を具体的に述べて下さい。公共バス利用客の激減を食い止める仕掛けはあるのか。
-----------	---

【市の考え方】今後の参考

本市にて実施している共助型交通の充実やデジタル技術の活用などにより公共交通の利便性向上を図り、交通事業者と連携して利用者増に努めます。

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

要望 201	浜松市域“RE100”について、以下のように考える。 2025年までに、再エネ発電量を455万MWhとすることで、市内消費エネルギーとほぼ同等にし、電力使用におけるCO2排出量ゼロにしようと計画しているが、通常、電力を安定供給するには、再エネ発電能力は、消費量の数倍必要である。また、どのような天候でも安定して電力を供給するには、蓄電池も必要であり、先日の台風で、この地域は、10日間近く雨天や曇天であった。太陽光の発電量は、年間80万MWhとなっており、10日間の太陽光の発電量を蓄電するには、$80 \text{ 万 MWh} \div 365 \text{ 日} \times 10 \text{ 日間} \div 2 \text{ 万 MWh}$の蓄電池容量が必要である。NAS電池は4万円/kwhで、蓄電池の価格は、$2 \text{ 万 MWh} \times 4 \text{ 万円/kwh} = 8000 \text{ 億円}$になる。 このような、膨大な発電設備や蓄電設備を設置して、本当にCO2排出量ゼロを目指すのか。市民のコスト負担はどうか。浜松市がCO2排出量ゼロとした場合の成果は何なのか。日本全体でのCO2排出量は、世界の3%、日本での発電関係のCO2排出量は8%、浜松市の発電量(455MWh)から上記の4%であり、世界のCO2排出量低減に、約0.01%貢献することを目指しているのか。
-----------	---

【市の考え方】その他

2050年までの二酸化炭素排出ゼロを目指し、本市は2020年3月に「浜松市域“RE100”」を宣言しました。「浜松市域“RE100”」は、市内の総消費電力に相当する電気を、市内の再生可能エネルギー施設で生み出すことができる状態を目指すもので、実質的に再生可能エネルギーのみで電力を賄う状態ではありません。

2050年のカーボンニュートラル・脱炭素社会の実現を目指し、再生可能エネルギーの導入を含む地球温暖化対策への取組は、自治体の責務であると考えます。

○基本政策2 循環共生型社会の実現

・政策3 快適で良好な生活環境づくり

要望 202	「有機フッ素化合物＝PFAS」への対応・対策を入れて欲しい。
-----------	--------------------------------

【市の考え方】盛り込み済

PFASについては、政策3に含まれており、具体的な内容については、毎年度作成する実施計画において明確にしていまいります。

要望 203	新川で高濃度のPFASが確認されてから久しい。夏に子供たちが川遊びの出来ないまま何年も過ぎてしまうのは不安である。新川の河川は、いざという時の防災のための河川でもある。早急の解決をお願いする。
-----------	--

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 204	事業者ではなく、相手が自衛隊基地であっても、同じく、立ち入り検査により、詳しい調査や、指導ができるようお願いしたい。
-----------	--

【市の考え方】盛り込み済

自衛隊基地は事業者に含まれています。

○基本政策３ 地域コミュニティの充実

・政策１ 市民が地域やコミュニティの一員として活躍できる社会の実現

要望 205	個人の自由尊重は大事だが、同時に公の決まり（法律、条例など）は守られることが前提である。また主権者である日本人の文化や伝統や慣習も尊重されるべきで、市内在住の外国人にはそれらを学習する機会を与える。またそれらを守らない外国人には自治会など地域コミュニティを通じて改善するように指摘し、外国人の意識の醸成や環境整備に取り組む。長期間滞在の外国人に対しては地域コミュニティに参加することを推進する。
-----------	---

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

提案 32	自治会運営の改革をすべき。回覧板からラインにし（防災等にも有効）情報を発信し、共有できるようになる。まず、市町村が支援して（補助会の交付）、各戸 Wi-Fi を整備し、スマホ、タブレットに接続支援する。誰一人として漏れの無いようにする。高齢者には支援体制（中高大学生を協力者として各地域に配置）をつくる。 自治会トップにライン技術のエキスパートを選出、抜擢し回覧板が廃止できる方向に尽力する。ラインの良さを説明し（分かりやすく）協力を得ていく。
----------	---

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 206	区ごとの取組や産業、公共施設について書かれているとより案が立てやすい。
要望 207	区が再編されて３区体制になり、地域、区ごとの異なる点を含め、全然触れられていない。
要望 208	各地域の人たちにとって、１つの単位、拠り所として、区を考えるので、言葉としてフォローしていただくほうがよいと感じる。

要望 209	分野別計画の中で、区事業がどのように反映されるのか代表的なものを具体的に挙げてくれるとわかりやすい。
------------------	--

【市の考え方】案の修正

いただいたご意見により、区政運営についての記載を追記します。

《修正内容》

P41 政策 1 市民が地域やコミュニティの一員として活躍できる社会の実現

(修正前)

記載なし

(修正後)

「区協議会などを通して地域の声を丁寧に伺い、各区の特性や地域資源を活かした区政運営に取り組みます。」

・政策 7 自由な選択の実行が保障されたユニバーサル社会の実現

要望 210	性別の他に「性自認、性的指向」を加えて欲しい。計画自体に LGBT・セクシュアルマイノリティが全く想定されておらず、市の政策に入れて欲しい。
------------------	--

【市の考え方】盛り込み済

ユニバーサルデザインは、すべての人を対象としているため、「性別、身体能力、国籍など」にセクシャルマイノリティも含まれています。

(5) 健康・福祉（意見数 13 件）

提 案 33	10 年後の理想の姿に「行政、地域、福祉関係団体など多様な主体が つながることにより」とあるが「教育」「企業」も入れるべきだと思 う。
-----------------------	---

【市の考え方】盛り込み済

地域福祉の推進には、「教育」や「企業」とのつながりも重要であると考えてい
ます。浜松市地域福祉計画においても、「地域」には、地域住民だけでなく教育機
関や企業が含まれており、連携して取組を進めてまいります。

提 案 34	「国の医療 DX」の意味が分からない。難しい言葉や専門用語を使う場 合は、その言葉を説明する欄を設けたほうがいい。
-----------------------	--

【市の考え方】その他

用語の説明のため、参考資料として用語集を作成します。

質 問 48	「年齢や障がいの有無などに関わらず、誰もが住み慣れた地域で生活 できるよう、切れ目のない支援に取り組みます」とあるが、発達障害な ど「福祉には該当しないが、社会生活に困難を抱える人」へのライフス テージの変化に対応できる支援体制を整備する計画はあるか。
-----------------------	---

【市の考え方】その他

どのような社会的困難を抱える人に対しても支援できるよう、関係機関と連携し、
重層的支援体制を整備してまいります。

提 案 35	健康経営優良法人数の増加が分かる図や表を掲載してはどうか。
-----------------------	-------------------------------

【市の考え方】その他

具体的な数値の推移については、毎年度作成する実施計画において明確にしてま
いります。

○基本政策 1 関係機関との連携による包括的な支援の推進

・政策 2 超高齢社会への対応

要望 211	市民皆が望むのは「健康長寿」である。 私は協働センターで「健康麻雀」に参加して、大勢の人達と楽しんでいる。 脳の活性化はもちろん、何といてもコミュニケーションが出来る事が良い。 高齢男性が女性より外出する機会などが大変少ない状況である。 健康寿命を延ばすには、先ず外へ出て、何か楽しい事を見つけることだと思う。
-----------	--

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

・政策 3 障がいのある人のライフステージに応じた支援の推進

質問 49	「きめ細かな相談・支援」とは具体的にどんな支援を考えているのか。
----------	---

【市の考え方】その他

障がいのある人が住み慣れた地域や家庭で安心して暮らすことができるよう、障がいのある人の視点に立ち、一人ひとりの意向や心身の状況に応じた支援を行います。

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしていまいります。

要望 212	事業所の整備の際に、地域ごとの必要な数の整備や障がいのある方々も、事業所選択出来るように、柔軟性を持たせて欲しい。就労継続支援 A 型が B 型へ移行したり、辞める事業所も全国的に増えており、障がいのある方の雇用を維持していくための取り組みも考えていただきたい。
-----------	--

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

質問 50	「かけはしシート、はますくファイル」を学齢期以降の就労などで活用する予定はあるか。
----------	--

【市の考え方】今後の参考

現時点で活用する予定はありません。ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

質問 51	「一般的な学校に所属している障害のある人」に対する支援機関・相談機関（教育委員会と行政（福祉・労働）の分野のチーム）を作る予定はないか。
----------	--

【市の考え方】盛り込み済

障がいのある人の相談窓口として障がい者相談支援センターを設置し、様々な相談に応じるなかで、必要に応じて教育や就労などの関係機関と連携し、支援を行っています。

また、障がいのある人への支援体制に関する課題について情報を共有し、地域の実情に応じた体制の整備について協議するため、障がい者自立支援協議会を設置しており、教育や就労分野の方にも構成員として参加していただいています。

○基本政策２ 人々の心身の健康を守る健康づくりの推進と医療の充実

・政策１ 生涯にわたる健康づくり

要望 213	たばこ販売組合を組織する零細な小売店は、たばこの販売を生業としながら、たばこ産業の健全な発展を図り、以て地方財政収入の安定的確保及び地域社会の発展に貢献していると自負している。一方、近年の度重なる増税や、過度の規制は組合員の経営を直撃し、まさに死活問題となっている。 浜松市総合計画基本計画のウィルビーイングの視点を取り入れているように「心の豊かさ」の観点からもこれ以上肩身の狭い思いは、我々にとって幸せとは言い難いと感じる。 浜松市が賑わえば、喫煙者、非喫煙者が存在する。公共的な場所であれば今の現状、非喫煙者の意見を取り入れる傾向にあり、一方喫煙者が気兼ねなく喫煙を楽しむことができない状況にある。 昨今の喫煙環境の状況を鑑みると「望まない受動喫煙を防止し、たばこを吸われない方、吸われる方もお互いが気持ちよく生活ができるよう、地方たばこ税の一部を活用して分煙環境を整備」していただきたい。また禁煙を促進するような施策も多く見られるが、合法的な商品であり、非合法な大麻や薬物を禁止する施策等を望む。人口減少による安定的な財源確保のためにも持続可能な生業となるよう意見を申し上げる。ご検討をお願いします。
-----------	---

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

・政策４ 持続可能な地域医療提供体制の確保（浜松医療センター）

質問 52	「病病連携」とは何か。
----------	-------------

【市の考え方】その他

用語の説明のため、参考資料として用語集を作成します。併せて「病診連携」についても用語集に追加します。

・政策 10 人と動物の共生する社会の実現

要望 214	「人と動物の共存する社会の実現」の意図がわからない。動物ならなんでも守る（共生する）わけではないであろう。生物多様性の保全の記述があるが、生物多様性保全（生態系保全）と動物愛護の考えは対立することもあるので、整理して論理的に書くべきである。また、どうして「生き物」でなく、「動物」なのか。動物以外は無視するのか。
-----------	--

【市の考え方】その他

用語の説明のため、参考資料として用語集を作成します。

要望 215	猫は可愛いけど野良猫が庭に糞をして困っているという話をよく聞く。以前広報はままつに地域猫が増えたことによる被害に困った地域の人たちが協力をして、数年かけて避妊去勢手術を行い必要以上に増やさないことに成功したという事例を拝見した。これが各自治体でできたらすごくいいと思ったが、費用面や動物に対する思いも個人差があると思う。自治体によって差が出るのを防ぐため、地域猫の避妊去勢手術の費用は市が負担するのがいいのではないかな。また動物愛護の意識を高めるための具体的な内容がわかりづらい。動物愛護の意識を高めるためには幼い頃から知ることが大切だと思う。サンクチュアリなどウミガメの保護活動を積極的に行う団体も浜松市にはあるのでそのような施設なども利用しながら、知るきっかけを作るのもいいのではないかな。
-----------	---

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

(6) 文化・スポーツ（意見数 28 件）

要望 216	文化・スポーツ・芸術の魅力に触れるだけでなく、自らが自分をあらわす表現として、スポーツのように「する」「みる」「ささえる」が必要だと思う。
-----------	---

【市の考え方】盛り込み済

「多様な活動を担う人材」には、活動を行う、鑑賞する、支援する人材を含んでいます。

要望 217	子どもの文化的体験の格差があると感じており、意識の高い親は、さまざまな文化的体験を子どもに与えているが、生活に余裕がない家庭では、文化的な体験をさせることが少ない。そこで、特に学校での文化芸術のアウトリーチについて政策として盛り込んでほしい。
-----------	---

【市の考え方】盛り込み済

「豊かな文化、芸術、歴史の魅力に触れ、学び、楽しむ機会を提供」することには、文化芸術のアウトリーチも含んでいます。

○基本政策 1 文化、芸術、歴史の魅力に触れ、学び、楽しむ機会、場の提供

要望 218	文化、芸術、歴史の魅力に触れ、学び、楽しむ機会、場の提供で、一般市民への文化・芸術への機会や場の提供が政策にない。施策をお願いする。
-----------	--

【市の考え方】今後の参考

「豊かな文化、芸術、歴史の魅力に触れ、学び、楽しむ機会、場の提供」においては、市民の皆さまを対象とした施策を実施してまいります。

・政策 1 音楽創造都市の推進

要望 219	浜松市のアーツカウンシルである、アーツ&クリエーションの役割と活動について政策がない。明記をお願いする。
-----------	--

【市の考え方】盛り込み済

アーツ&クリエーションに関する政策としては、主に政策 1 にある「文化・芸術を軸としたクリエイティブな活動を行う団体、個人の活動や自立に向けた支援」が該当します。

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしています。

・政策２ 音楽のあふれるまちづくり

質問 53	「多様なジャンル」とは、ピアノ以外に何のジャンルを取り込んでいくのか。
----------	-------------------------------------

【市の考え方】その他

「多様なジャンルの音楽文化」はクラシック音楽のほか、吹奏楽、ジャズ、軽音楽等市民の皆さんが楽しむことのできる音楽ジャンルを広く含みます。

要望 220	音楽のできる大型ホールの改修が重なり、音楽難民が出ている。閉鎖されてしまうホールもあり、きちんと市民が音楽活動できる屋内のホールの計画を立てていただきたい。市主催プロムナードコンサートは屋外開催であり、近年の気候変動により雨天中止や、炎天下で演者も観客も熱中症の危険が高くなっている。
-----------	--

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 221	人材育成やイベント等のソフト面に重点が置かれていますが、ハード面の整備が遅れている。浜松市は「楽器のまち・音楽のまち」として世界に知られており、その知名度を活かして、「音楽の都・浜松」を目標に掲げ、「学ぶ・奏でる・感動する」をコンセプトに、音楽大学の誘致、本格的なコンサートホール（はまホールの後継施設）の整備、アフターコンサートの楽しめるまちづくりを積極的に推進する必要があります。
-----------	--

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 222	音楽は「聴く」ことも大事であり、アクトシティなどで音楽を聴く機会を増やすのはどうか。
-----------	--

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

・政策 3 生涯学習社会の実現

要望 223	生涯学習講座という先生と生徒という関係のみを想定されているように見受けられるが、市民が自立して研究・探求した成果を発表・討議する場の提供も行う。他市の事例として長野県飯田市では市民が中心に運営されている「柳田國男記念伊那民俗学研究所」という組織があり、私も県外から数年間参加して毎月例会に出席していましたが、そこでは市民が文献調査をしたり討議に参加したり論文発表したりと能動的に活動していた。そのような団体が浜松市にも生まれるような、行政側の支援を含む取り組みを期待する。
-----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 224	市民の生涯学習の場としては図書館、美術館、博物館、科学館、ホール等数々あるが、そのほとんどは指定管理制度による施設である。市民協働によるまちづくり推進の担い手を育てる役割はほとんどが市の直営である協働センターにある。安定的な質の高い講座や市民のニーズに十分応えるためにも直営スタッフの育成と充実が求められる。市民力向上のための生涯学習の場と実施人材の確保について具体的に記載してほしい。
-----------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

・政策 4 地域総がかりによる文化財の保存・継承と活用

要望 225	文化財の他に「博物館資料、美術館館蔵品、公文書」を入れて欲しい。
-----------	----------------------------------

【市の考え方】 盛り込み済

文化財の定義は文化財保護法により絵画や彫刻等の芸術上価値の高いものとされていることから、博物館資料、美術館館蔵品を含めて文化財と表現しています。

また、公文書の保存等に関しましては、分野別計画のうち「地方自治」の基本政策 2 において実現してまいります。

・政策 5 多くの人が歴史に接する機会の創出

要望 226	博物館、美術館の役割として、博物館法改正による文化芸術基本法に則った役割の明記をお願いする。
-----------	--

【市の考え方】その他

法に則った役割を前提に本計画の内容としており、博物館、美術館の実施する事業により、地域における教育、学術及び文化の振興、文化観光等の推進を図り、地域の活力向上につながるものと考えています。

・政策 6 市民に愛される美術館

要望 227	図書館はかなり立派に機能しているが、博物館、美術館、動物園は市の方針だと思うが人員と予算不足で厳しい。フラワーパークは民間の力で奮闘しているが、豊橋市にはある自然史博物館もない。これでは、文教・文化施策は貧弱すぎて愛着も誇りも持ちにくいと思うが、どうか。
-----------	---

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 228	市美術館は 1971 年に市政 60 周年を記念して開館してから半世紀が過ぎ、老朽化対策とともに、未来志向の美術館再建が必要である。静岡市は JR 静岡駅から徒歩 5 分の位置に美術館をしており、クルマを利用できない市民から親しまれている。市庁舎とともに松菱跡地（又は浜松駅北口地区駅ビル）への移転が望まれる。
-----------	---

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 229	教育文化会館の建て替え計画も出されないなど、音楽の都、スポーツ文化都市に向かう兆しはないが、博物館、美術館、図書館の利用状況は 80 万都市にしては寂しすぎる。思い切った拡充策を取るべき。
-----------	--

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 230	現実の美術館は老朽化し、サイズのにも現代の美術品を展示するには小さすぎるスペースしかない。 抜本的に美術館の建て替えが必要だと思うが、記述がない。本当に市民のために愛される美術館が必要だと思っているのであれば、是非ここに予算を割いて活用される美術館をつくって欲しい。そして館だけでなく、企画・運営する学芸員の充実も併せて願います。
-----------	--

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

・政策 7 知の拠点としての図書館機能の拡充

提 案 36	政策内容をさらに拡充して欲しい。 海外ではホームレスやフリーターに向けてハローワークのような職業斡旋の機能を取り入れた図書館がある。図書館内に設置することで、すぐにその職業・資格について勉強することができたり、選択肢を広げたりできる。また子育て世代の横の輪を広げるために、悩みなどを打ち明けられて、アドバイスをもらうことのできるイベントなどを図書館で実施することで、市民と図書館の距離を縮めることができ、市民間の交流も活発になり、「みんなの居場所」としての図書館の役割を担うことができると考える。
--------------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

・政策 8 専門職の人材育成

要 望 231	専門職とは、館をマネジメントする人材、エデュケーター、コンサバーター、広報を明記して欲しい。
---------------	---

【市の考え方】 盛り込み済

政策 8 に記載する「専門職」は、博物館、美術館、図書館等において、それぞれ必要となる人材を含んでいます。

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

要 望 232	文化施設とあるが、鴨江アートセンター、楽器博物館、文芸館、サーラホールなど多くの施設がある。これらの施設の役割と活動についての政策がない。明記をお願いする。
---------------	---

【市の考え方】 盛り込み済

政策 8 に記載する文化施設には、広く文化芸術施設を含んでいます。

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしてまいります。

○基本政策 2 「する」「みる」「ささえる」でまちを元気にするスポーツの推進

・政策 1 スポーツに親しみ、触れる機会の創出

要 望 233	「スポーツをする、見る、支える」を実現するため、浜松シティマラソン以外の大会を作ってはどうか。
---------------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

提案 37	「スポーツ（道具や観戦に負担がかかる）」に限らず、金銭を必要としない「緩やかな運動（ラジオ体操・プロギングなど）・健康づくり（ウォーキングなど）」への取組も加えるべきではないか。健康づくりに縁がない人でも気軽に始めることができる仕組み・継続できる取組・参加するとメリットがある取組も必要だと思う。
------------------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

・政策 2 誰もがスポーツを楽しむ環境の整備

要望 234	最近では体を動かすスポーツだけではなく e スポーツが日本でも人気が向上してきており、イベントも国内でも開催されるようになってきている。インクルーシブスポーツとしては e スポーツはこれ以上ないほど適しているが、e スポーツの設備などにも対応していただきたい。
-------------------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 235	スポーツにより市外から人を呼び込むことよりも、もっと市民が「気軽に」スポーツのできる環境を整備してほしい。浜松にはスポーツのできる場所が少なく、あったとしても許可がいります。私が留学したカナダには地域ごとにコミュニティセンターがたくさんあり、トロント市のホームページで曜日、時間、アクティビティ（競技）、年齢ごとに使える時間が決まっており、その時間内なら無料で使用することができた。また、体育館だけでなく、テニスコート、小さなプールなども同じ施設に設備されており、そのような施設を増やしていくことで誰もがスポーツを楽しむことのできる浜松が実現できると思う。具体的には、最初から新たな大型施設を作ることは手が出にくいと思うので、まず今浜松にある協働センターなどにある体育館の一般開放の質を改善することが必要である。そして、学校のある日中などは高齢者向けに開くなど、常に施設の需要が上がり、新たな施設を作ることも容易になっていくと考える。
-------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 236	プロスポーツチーム、全国大会、国際大会の誘致を進めるために大型のスタジアム、体育館等を建設してほしい。
-------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 237	アーバンスポーツ、特にスケートボードを行うことができ、大会を運営できる施設の整備をしてほしい。若者が夜中に街中でスケートボードを行っており危険である。しかし近年、スケートボードは若者の間で人気であり、活躍も著しい。禁止にするのではなく、若者の将来の選択肢を増やすためにも施設を建設し、支援してほしい。
要望 238	若者が遊ぶ場所がない。バイト終わりにソラモでスケボーをしている人たちは改善される気配がない。スケボーパークを作ったりすれば解決できるのか。

【市の考え方】 今後の参考

公園内においてスケートボードができる施設については、令和5年度に策定した「スケートパーク整備方針」に基づき整備を推進しています。本方針に基づき、大会が開催できる施設の整備については、利用者が増加しニーズが高まった段階で検討してまいります。

要望 239	四ツ池競技場の整備について、国際大会が実施できる第1種公認の競技場が、県内に既に2ヶ所（1つは西部の袋井市）あり、その役割が競合してしまう。整備の方針を、陸上競技協会ともよく相談し、慎重に対応していただきたい。
-----------	---

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 240	「する」スポーツの推進政策に現実味がない。「大規模施設整備」についてあるが、それが「誰もがスポーツを楽しむ環境の整備」につながるように思えない。具体的には篠原に計画しているドーム球場で言えば、利用料が高く、誰もが気軽に利用できない。具体例をあげれば浜松には公共の屋内温水プールが他市と比べて圧倒的に少ない。政令指定都市で比較すれば、名古屋市は各区に1つずつあり（熱田区は除く）、近隣の他市で比較しても人口比でも面積でも全く少ない。 多くのスポーツは広い場所があればできるが、水泳はプールがなければできない。江ノ島に続いて浜北温水プールが無くなり可美のプールも故障中であり、名古屋と比べると酷だが、元々あった施設も維持できず廃止している姿勢は市民のスポーツ環境を整備することを全く考えて無いとしか思えない。一方で一般市民が気軽に使えない篠原のドーム球場には力を入れるのはどういうことか。
-----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

(7) 地方自治（意見数 11 件）

要望 241	市議会の独立性を堅持。市当局、市議会、商工会、自治会のなれ合いは、市民の行政不審を招き衰退する自治体に傾く。
-----------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

要望 242	“浜松市総合計画「基本構想」”は、前市長時に策定されたもので、行革と徹底した経費削減の緊縮財政が基本となっている。そのため、未来ビジョンは「1 ダースの未来」という、どこの都市にも当てはまるような美辞麗句で綴られた骨抜き計画となっています。「第2期基本計画」もその考え方が踏襲されており、「先送りのできない課題」と、10年でやるべき「目標」「重点施策」が示されていない。中野市政がめざす「地方創生」を実現するには「未来への投資」が不可欠であり、次世代に責任の持てる未来を築くためには積極財政に転じ、そのうえで「第2期基本計画」に練り直すべきと考える。
-----------	---

【市の考え方】 案の修正

いただいたご意見により、財政運営の目標についての記載を追記します。なお、課題や重点施策など具体的な内容については、策定中の財政運営に関する計画や毎年度の予算において示してまいります。

《修正内容》

P57 10年後（2034年）の理想の姿

（修正前）

記載なし

（修正後）

「引き続き安定的な財政運営が進められている。」

提案 38	「（公助としての）市や議会の取組みを市民へわかり易く知らせる「広報はままつ」により、市民の共通理解を深める」という項目を追加し、市民意識を醸成すべき。個人としても、若者でも、気軽に「市への要望」を提出できるようなくみがあれば 共助につながる。広報を通じた啓発も必要である。
----------	--

【市の考え方】 案の修正

市民と行政との共通理解を深めるとともに、市民の声をしっかりと聴くことは重要だと考えています。いただいたご意見により、以下のとおり修正します。具体的な内容については、毎年度策定する実施計画において明確にしております。

《修正内容》

P57 取組の方向性

(修正前)

「あらゆる機関から情報を収集するとともに、様々なツールを活用して市政情報をわかりやすく伝えます。」

(修正後)

「市民の声にしっかり耳を傾けるとともに、多様な機関から情報を収集し、様々なツールを活用して市政情報をわかりやすく伝えます。」

要望 243	「地方創生」のための未来への投資と、過去に備されたインフラの老朽化対策には多額の財源が必要である。市がインフラの老朽化対策に、今後 50 年間に約 2 兆 3 千億円（毎年約 460 億円）が必要（令和 5 年度浜松市の資産のすがた）としている通り、財源不足は明白である。厳しい財政状況を明記し、市民が認識することで、税金の無駄遣いをなくし、どの政策を優先すべきかを考え、適正・公正・公平・効率的な財政運営が可能となる。また、財源不足を補うため、市税等の自主財源増収を図るための政策を、積極的に推進する必要がある。
-----------	---

【市の考え方】案の修正

市税等の自主財源を確保していくことは重要だと考えます。いただいたご意見により、財務部の取組についての記載を追記します。

《修正内容》

P57 取組の方向性

(修正前)

「適正な債務管理と必要な投資の両立によるしなやかな財政運営を行うとともに、保有財産・公共施設の適正化、民間活力の導入を進めます。」

(修正後)

「適正な債務管理と必要な投資の両立によるしなやかな財政運営を行うとともに、市税をはじめとした財源の確保、保有財産・公共施設の適正化、民間活力の導入を進めます。」

○基本政策 1 市民とともに歩む未来を見据えた行政運営

・政策 1 基本構想の実現に向けた総合計画の推進

提案 39	「EBPM」がわかりにくい。「確かなエビデンスにもとづいて政策の決定や実行、効果検証を行う」にした方が良いと思う。
----------	---

【市の考え方】その他

用語の説明のため、参考資料として用語集を作成します。

○基本政策 2 市民満足度の高い自治体組織と運営の実現

・政策 2 職員の育成

提案 40	市民への約束に具体性を持たせた「職員クレド（行動規範）」に触れていないのはいかがか。職員像を目指し、市民への約束を実現するための職員クレドであり、そのための職員の育成であると認識しており、新たに策定された「職員クレド（行動規範）」にも触れるべきだと考えるが、どうか。職員の育成は、職員像を目指しつつも、抽象的でいかようにも解釈ができる職員像ではなく、具体的な行動規範に沿って組み立てる必要があるのではないだろうか。
------------------	---

【市の考え方】今後の参考

職員の育成に関する具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしていまいります。

要望 244	目指すべき職員像として「変化を先取りし、市民の目線で考え、果敢に行動する職員」を掲げ、職員の意識改革を推進とあるが、現実にはそのような浜松市職員にはほとんど出会ったことがない。これは何故か。現状を顧みて正そうということなら良いが、現状の認識が甘いのではないか。
-------------------	--

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

・政策 3 未来に向けた都市経営の推進

要望 245	都市経営の推進では、不断の見直しと資源の投資、ガバナンス強化を取り上げて、内部的な持続可能性の実現を目指した内容となっている。経営学のマーケティングの視点では、行政の立ち位置として、対外的な都市経営のポジショニングが全く見えない内容となっている。具体的には、日本の地方公共団体の中で、また政令指定都市の中で、どのような価値を示し、ポジショニングをしていくのかが記載されていない（おそらくマーケティングで重要なポジショニングマップを描けていないと思われる）。 政令指定都市として、市内だけを見て、未来に向けた都市経営をしていくなれば、それはそれでローカルな地方都市としては良いかもしれない。しかしながら、浜松市は財政力があり、ポテンシャルを持つ政令指定都市として、日本の中で責任や果たすべき役割があるはずである。 このことからポジショニングとして、例えば、新たな政策イノベーションを起こすために「日本一の政策ベンチャーを目指す」くらいのポジショニングの記載が必要ではないだろうか。日本の地方公共団体をリーディングしていく浜松市になろうではありませんか。そのためには、マーケティングを行い、地方公共団体の中で、また政令指定都市の中でポジショニングを明確にする必要があると思われるが、どうか。 浜松市は、潜在能力が高い都市なのに、他の地方公共団体と連携・協力だけのポジショニングができていない、内向きな都市経営だけでは実にもったいないと感じている。
--------------------------	---

【市の考え方】今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

○基本政策 5 デジタル活用による安全・安心、便利で快適な市民サービスの実現

提案 41	情報社会において、今後さらに重要性を増すことが推測されるデジタル活用は重要な項目である。政策が2つに集約されてしまい、わかりにくく感じたため、職員の働き方のデジタル化、システムの維持管理や最適化、情報管理の安全性（セキュリティ）等、もっと政策を細分化した方がいい。
-------------------------	---

【市の考え方】今後の参考

政策については「デジタル活用による市民サービス等の向上」と、それを支える「ネットワーク等の適正管理」という整理で区分しました。

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

・政策 1 デジタル活用によるウェルビーイングの向上と都市の最適化

要望 246	協働センターで市民誰もが地域を超えて、日本全国共通に申請や手続きが行える様にネット（体制）づくりを完成させる。これが可能になった上でマイナンバーカードへとつなげる。このネット社会がくれる人材を採用して実現を目指す。
--------------------------	--

【市の考え方】 今後の参考

ご意見については、今後の施策を検討する際に参考とします。

○政策 公正かつ能率的な人事行政運営の推進

質 問 54	「優秀な人材の確保」についての具体的なビジョンはどうなっているのか。
-----------------------	------------------------------------

【市の考え方】 その他

具体的な内容については、個別計画や毎年度作成する実施計画において明確にしていまいります。

その他（意見数 2 件）

要望 247	大型野球場は絶対作ってほしくない。人口が減り、子供の数も減ってゆく時、イベントも少なく（プロ野球のゲームなど年に 1 回）、その建物を維持していくだけで財政の破綻を考えてしまう。
要望 248	篠原に建設予定のドーム型野球場は、現在の野球場の場所の方がアクセスも良く、海拔も高い。 建設予定地は、海に近く、また費用面を考えると建設すべきではない。

【市の考え方】 今後の参考

ご意見として承ります。